

平成 26 年度石綿の健康リスク調査の結果について（案）

平成 28 年 2 月

平成27年度 石綿の健康影響に関する検討会名簿

(五十音順、敬称略)

氏 名	所 属
秋元 政博	横浜市健康福祉局担当部長
内山 巖雄	国立大学法人京都大学名誉教授
沖 勉	北九州市保健福祉局参与
神山 宣彦	東洋大学大学院経済学研究科客員教授
酒井 文和	埼玉医科大学国際医療センター放射線科教授
篠原 久子	鳥栖市健康福祉みらい部長
島 正之	兵庫医科大学公衆衛生学主任教授
清水 昌好	尼崎市医務監
祖父江 友孝	大阪大学大学院医学系研究科社会環境医学講座 環境医学教授
中野 孝司	兵庫医科大学呼吸器内科主任教授
平野 靖史郎	独立行政法人国立環境研究所環境リスク研究センター 健康リスク研究室長
廣田 理	西宮市保健所参事
古川 裕之	羽島市福祉部長
前野 孝久	奈良県医療政策部保健予防課長
三浦 溥太郎	横須賀市立うわまち病院副院長
三井 幸裕	芦屋市こども・健康部長
諸富 伸夫	大阪府健康医療部保健医療室健康づくり課長

は座長

目 次

1 . はじめに	1
2 . 調査方法の概要	1
(1) 調査対象地域	1
(2) 調査対象期間	1
(3) 調査対象者	1
3 . 調査方法	2
(1) 問診	2
(2) 胸部X線検査・胸部C T検査	3
(3) 読影	3
(4) 検査結果	3
(5) 調査対象者の次年度における検査の考え方	4
4 . 平成26年度受診者の概要	5
(1) 受診状況	5
(2) ばく露歴と医学的所見	5
(3) 平成22～25年度受診者のうち、 医療の必要があると判断された者の経過把握結果について	10
(4) 平成22～25年度受診者のうち、 平成26年度に受診しなかった者のアンケート結果	11
5 . 新規受診者の概要	12
(1) 調査対象者	12
(2) 医学的所見	13
6 . 継続受診者の概要	14
(1) 調査対象者	14
(2) 医学的所見の経年変化	15
7 . 第2期調査(5年間)のまとめ	20
(1) 受診状況	20
(2) 医学的所見	21
(3) 医学的所見の変化(改善・変化なし・悪化)	22
(4) 石綿関連疾患の診断状況	23
(5) 受診者アンケート	24
8 . 平成26年度の7地域合計の調査結果のまとめ	27
(1) 受診状況について	27
(2) ばく露歴と医学的所見について	27

大阪府・尼崎市・鳥栖市・横浜市・羽島市・奈良県・北九州市における第2期石綿の健康リスク調査報告の概要

1. はじめに

平成17年6月に、石綿取扱い施設周辺の一般住民が石綿を原因とする健康被害を受けているとの報道があり、一般環境（ここでは、一般大気を言う。）を經由した石綿ばく露による健康被害の可能性が指摘された。環境省においては、これを受けて石綿のばく露歴や石綿関連疾患の健康リスクに関する実態把握を行うこととなった。

平成18年度においては、一般環境を經由した石綿ばく露による健康被害の可能性があり、調査への協力が得られた大阪府、尼崎市、鳥栖市の3地域において、石綿取扱い施設の周辺住民に対して、問診、胸部X線検査、胸部CT検査等を実施することにより、石綿ばく露の医学的所見である胸膜プラーク等の所見の有無と健康影響との関係に関する知見を収集した。平成19年度においては、横浜市、羽島市、奈良県が調査実施団体として加わり、平成21年度においては、北九州市がさらに調査に加わった。

平成22年度からは第2期石綿の健康リスク調査を開始したところである。本調査は、対象者数を大幅に増加させるとともに、毎年の検査（年1回）や健康状況の確認を一定の期間確実に行うこととし、従来からの解析に加え、石綿ばく露の違い等による石綿関連所見や石綿関連疾患の発生状況の比較等を行い、石綿ばく露者の中・長期的な健康管理の在り方を検討するための知見の収集を目的としている。このため、上記7地域で調査を実施し、今般、平成26年度における調査結果を以下のとおり取りまとめた。

2. 調査方法の概要

(1) 調査対象地域

一般環境を經由した石綿ばく露による健康被害の可能性がある大阪府泉南地域等、尼崎市、鳥栖市、横浜市鶴見区、羽島市、奈良県、北九州市門司区の7地域において調査を実施した。大阪府泉南地域等とは、泉南地域（岸和田市、貝塚市、泉佐野市、泉南市、阪南市、熊取町、田尻町、岬町）及び大阪市¹、河内長野市の10市町である。

なお、本調査は、環境省環境保健部に設置された「疫学研究に関する審査検討会」の承認を得ている。

(2) 調査対象期間

平成22年度～26年度

(3) 調査対象者

原則として、次の～を全て満たす者を調査対象者として自治体の広報等で募集し、希望者全員を対象とした。

石綿取扱い施設の稼働時期に、調査対象地域に居住していた者

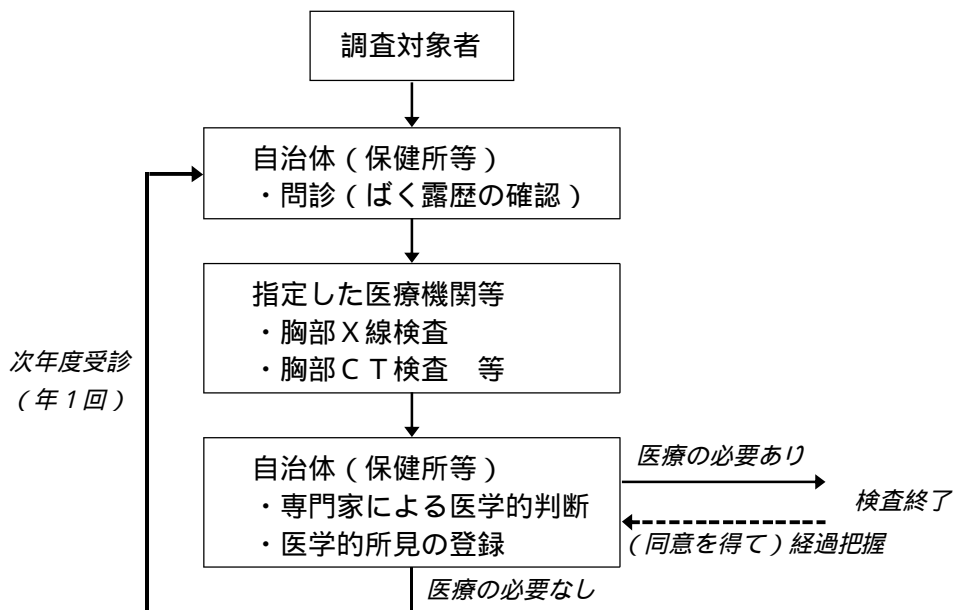
¹ 大阪市は平成26年度より参加

調査対象地域自治体が検査を実施する指定医療機関等で検査を受けることができる者
本調査の主旨を理解し、調査の協力に同意する者（同意書に署名）

なお、これまで既に医療機関等で同様の検査を実施したことがある者についても、希望があれば調査対象者として受け入れている。その他、各自治体の事情により、上記～に該当しない者についても受け入れている地域もある。（巻末：表2参照）

ただし、労働安全衛生法の石綿健康管理手帳を取得している又は交付要件に該当している場合、石綿障害予防規則により職場等で石綿に関する特殊健康診断を受けることができる場合は調査の対象外としている。

<健康リスク調査の概要図>



3. 調査方法

(1) 問診

調査の概要図を上図に示す。調査対象者に対して、保健所及び保健センター等において保健師等による詳細な問診を行い、呼吸器疾患等の既往歴、居住歴、通學歷、本人・家族の職歴を調査した。ただし、平成 22 年度以前に石綿の健康リスク調査に参加した者については過去の問診票を基に簡略化を行うことを可能とした。

問診の結果により、調査対象者のばく露歴を、次の5区分に分類した。

- ア．直接石綿を取り扱っていた職歴がある者（直接職歴）
- イ．直接ではないが、職場で石綿ばく露した可能性のある職歴がある者（間接職歴）
- ウ．家族に石綿ばく露の明らかな職歴がある者で作業具を家庭内に持ち帰ることなどによる石綿ばく露の可能性が考えられる者（家庭内ばく露）
- エ．職域以外で石綿取扱い施設や吹き付け石綿の事務室等に立ち入り経験がある者（立ち入り等）
- オ．上記ア～エ以外のばく露の可能性が特定できないもの（居住地や学校・職場等の周辺に

石綿取扱い施設がある場合も含む)(その他)

なお、ア～エの複数に該当する場合は、原則として、ア～エのうち、先に該当する区分に分類した。(例)アとウに該当した場合はアに分類する。

(2) 胸部X線検査・胸部CT検査

調査対象者に対し、胸部X線検査及び胸部CT検査を実施した。検査を実施した施設は、保健所や指定医療機関、検診車等であり、各地域により異なる(巻末:表2参照)。また、最近、医療機関等で胸部CT検査を受診した者については、放射線被ばくのリスクを勘案して、本調査では胸部CT検査を実施せず、撮影した医療機関から画像のコピーを入手することも可能とした。

なお、平成22年度の石綿の健康リスク調査等で胸部CT検査を受診した者で、所見のない者については、胸部CT検査を省略することを可能とした。

(3) 読影

胸部X線画像及び胸部CT画像について、専門の医師による読影を行い、石綿ばく露に関連する次の画像所見の有無について判定した。なお、読影にあたっては、別の専門家による二次読影も実施し、ダブルチェックを行った。

<画像所見の分類>

胸水貯留が認められる者

胸膜プラーク(限局性の胸膜肥厚)が認められる者

びまん性胸膜肥厚が認められる者

胸膜腫瘍(中皮腫)疑いが認められる者

肺野の間質影が認められる者

円形無気肺が認められる者

肺野の腫瘤状陰影(肺がん等)が認められる者

リンパ節の腫大が認められる者

その他の所見が認められる者(陈旧性結核病変など ~ 以外の所見)

または の所見が見られたものの、石綿以外の原因である可能性が高いと判断した場合は としている。

「疑い所見」とされた場合は所見番号の後ろに「疑」を記載している。

(4) 検査結果

読影結果については、それぞれの健康管理に役立ててもらうため、受診した医療機関若しくは調査対象地域自治体から、調査対象者に以下のとおり通知した。

精密検査又は医療の必要があるとされた者

認められた所見について説明し、すみやかに医療機関を受診し、医師の指示に従うよう指導した。

所見を有しているが、医療の必要がないとされた者

認められた所見について説明し、直ちに医療機関を受診する必要はないが、経過観察を行うため、引き続き、当調査に参加し検査を受診するようお願いした。

所見を有しない者

所見が認められないことを説明し、経過を確認するため、引き続き、当調査に参加し検査を受診するようお願いした。

(5) 調査対象者の次年度（平成 23～26 年度）における検査の考え方

調査対象者について、次年度に引き続き検査を行うかについては以下の 1)～3)の考え方に従うものとする。

- 1) 石綿健康被害救済法の指定疾病に罹患した者は、次年度の検査は行わないものとする。
- 2) 医療の必要があるとされた者は、次年度の検査を行わないものとするが、医療終了後に再度検査を行うことは妨げない。
- 3) 医療の必要がないと判断された者は、次年度も引き続き、検査を行うものとする。

なお、1)と判断された者については、調査対象者の同意を得た上で、医療機関へ照会を行い、できる限り治療経過等の把握に努めた。

4. 平成26年度受診者の概要

(1) 受診状況

2.(3)の条件を満たす等により、平成26年度の調査対象者数は7地域合計で3,134人であった。調査対象者のうち、平成22～25年度に検査を受診した者(継続受診者)は2,634人(調査対象者に対する割合84%)、平成22～25年度に検査を受診しなかった者(新規受診者)は500人(同16%)であった。

表4-1 調査対象者の属性

地域	調査対象者					
	継続受診者	新規受診者	現地域内在住者	男性	女性	
大阪府	479	341 71.2%	138 28.8%	466 97.3%	289 60.3%	190 39.7%
尼崎市	638	430 67.4%	208 32.6%	519 81.3%	348 54.5%	290 45.5%
鳥栖市	293	259 88.4%	34 11.6%	280 95.6%	177 60.4%	116 39.6%
横浜市	238	214 89.9%	24 10.1%	176 73.9%	131 55.0%	107 45.0%
羽島市	709	703 99.2%	6 0.8%	605 85.3%	303 42.7%	406 57.3%
奈良県	596	554 93.0%	42 7.0%	583 97.8%	332 55.7%	264 44.3%
北九州市	181	133 73.5%	48 26.5%	154 85.1%	86 47.5%	95 52.5%
計	3,134	2,634 84.0%	500 16.0%	2,783 88.8%	1,666 53.2%	1,468 46.8%

注：割合は調査対象者を分母として算出

(2) ばく露歴と医学的所見(巻末：表4-3～6参照)

各地域の調査対象者について、X線検査によって確認された石綿関連の医学的所見(疑いを含む。)とばく露歴の関係は以下のとおりである。なお、調査計画において、CT検査は新規受診者及び継続受診者で有所見者のみに実施することを基本としており、新規受診者と継続受診者で所見の分布状況が異なるため、CT所見については後章で別途整理することとした。

<大阪府泉南地域等>

調査対象者479人のうちX線検査を受診した者478人。うち所見が見られる者63人(「胸膜ブランク」53人、うち疑い1人)

- ア．主に直接職歴の者176人。うち所見が見られる者31人(「胸膜ブランク」26人)
- イ．主に間接職歴の者40人。うち所見が見られる者4人(「胸膜ブランク」2人、うち疑い1人)
- ウ．主に家庭内ばく露の者43人。うち所見が見られる者7人(「胸膜ブランク」7人)
- エ．主に立ち入り等の者51人。うち所見が見られる者6人(「胸膜ブランク」6人)
- オ．上記ばく露歴が確認できない者(その他)168人。うち所見が見られる者15人(「胸膜ブランク」12人)

所見が見られる者63人の内訳(重複含む。)は、「胸水貯留」6人(うち疑い1人)、「胸膜ブランク」53人(うち疑い1人)、「びまん性胸膜肥厚」4人、「肺野の間質影」12人、「肺野の腫瘤状陰影(肺がん等)」1人であった。

労働現場等と関係しているばく露歴が確認できる者(「ア」～「エ」の合計)は310人で、

うち所見が見られる者 48 人の内訳（重複含む。）は、「胸水貯留」5 人（うち疑い 1 人）、「胸膜プラーク」41 人（うち疑い 1 人）、「びまん性胸膜肥厚」3 人、「肺野の間質影」10 人であった。

労働現場等と関係しているばく露歴が確認できない者（「オ」）は 168 人で、うち所見が見られる者 15 人の内訳（重複含む。）は、「胸水貯留」1 人、「胸膜プラーク」12 人、「びまん性胸膜肥厚」1 人、「肺野の間質影」2 人、「肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）」1 人であった。

< 尼崎市 >

調査対象者 638 人のうち X 線検査を受診した者 638 人。うち所見が見られる者 72 人（「胸膜プラーク」57 人、うち疑い 8 人）

ア．主に直接職歴の者 139 人。うち所見が見られる者 16（「胸膜プラーク」13 人、うち疑い 1 人）

イ．主に間接職歴の者 59 人。うち所見が見られる者 15 人（「胸膜プラーク」8 人、うち疑い 2 人）

ウ．主に家庭内ばく露の者 48 人。うち所見が見られる者 7 人（「胸膜プラーク」5 人、うち疑い 1 人）

エ．主に立ち入り等の者 31 人。うち所見が見られる者 4 人（「胸膜プラーク」3 人）

オ．上記ばく露歴が確認できない者（その他）361 人。うち所見が見られる者 30 人（「胸膜プラーク」28 人、うち疑い 4 人）

所見が見られる者 57 人の内訳（重複含む。）は、「胸水貯留」3 人、「胸膜プラーク」57 人（うち疑い 8 人）、「肺野の間質影」13 人（うち疑い 2 人）、「肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）」1 人であった。

労働現場等と関係しているばく露歴が確認できる者（「ア」～「エ」の合計）は 277 人で、うち所見が見られる者 42 人の内訳（重複含む。）は、「胸水貯留」2 人、「胸膜プラーク」29 人（うち疑い 4 人）、「肺野の間質影」10 人（うち疑い 1 人）、「肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）」1 人であった。

労働現場等と関係しているばく露歴が確認できない者（「オ」）は 361 人で、うち所見が見られる者 30 人の内訳（重複含む。）は、「胸水貯留」1 人、「胸膜プラーク」28 人（うち疑い 4 人）、「肺野の間質影」3 人（うち疑い 1 人）であった。

< 鳥栖市 >

調査対象者 293 人のうち X 線検査を受診した者 289 人。うち所見が見られる者 19 人（「胸膜プラーク」10 人）

ア．主に直接職歴の者 78 人。うち所見が見られる者 10 人（「胸膜プラーク」7 人）

イ．主に間接職歴の者 18 人。うち所見が見られる者 0 人（「胸膜プラーク」0 人）

ウ．主に家庭内ばく露の者 50 人。うち所見が見られる者 3 人（「胸膜プラーク」2 人）

エ．主に立ち入り等の者 43 人。うち所見が見られる者 1 人（「胸膜プラーク」0 人）

オ．上記ばく露歴が確認できない者（その他）100 人。うち所見が見られる者 5 人（「胸膜プラーク」1 人）

所見が見られる者 19 人の内訳は、「胸水貯留」1 人、「胸膜プラーク」10 人、「肺野の間質影」7 人、「肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）」3 人であった。

労働現場等と関係しているばく露歴が確認できる者（「ア」～「エ」の合計）は 189 人で、うち所見が見られる者 14 人の内訳は、「胸水貯留」1 人、「胸膜プラーク」9 人、「肺野の間質影」4 人、「肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）」1 人であった。

労働現場等と関係しているばく露歴が確認できない者（「オ」）は 100 人で、うち所見が見られる者は 5 人の内訳は、「胸膜プラーク」1 人、「肺野の間質影」3 人、「肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）」2 人であった。

<横浜市鶴見区>

調査対象者 238 人のうち X 線検査を受診した者 238 人。うち所見が見られる者 29 人（「胸膜プラーク」27 人、うち疑い 4 人）

ア．主に直接職歴の者 55 人。うち所見が見られる者 11 人（「胸膜プラーク」11 人、うち疑い 2 人）

イ．主に間接職歴の者 20 人。うち所見が見られる者 3 人（「胸膜プラーク」3 人、うち疑い 1 人）

ウ．主に家庭内ばく露の者 19 人。うち所見が見られる者 3 人（「胸膜プラーク」3 人）

エ．主に立ち入り等の者 10 人。うち所見が見られる者 1 人（「胸膜プラーク」1 人）

オ．上記ばく露歴が確認できない者（その他）134 人。うち所見が見られる者 11 人（「胸膜プラーク」9 人、うち疑い 1 人）

所見が見られる者 29 人の内訳（重複含む。）は、「胸膜プラーク」27 人（うち疑い 4 人）、「肺野の間質影」2 人、「肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）」1 人（うち疑い 1 人）であった。

労働現場等と関係しているばく露歴が確認できる者（「ア」～「エ」の合計）は 104 人で、うち所見が見られる者 18 人の内訳（重複含む。）は、「胸膜プラーク」18 人（うち疑い 3 人）、「肺野の間質影」1 人であった。

労働現場等と関係しているばく露歴が確認できない者（「オ」）は 134 人で、うち所見が見られる者 11 人の内訳は、「胸膜プラーク」9 人（うち疑い 1 人）、「肺野の間質影」1 人、「肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）」1 人（うち疑い 1 人）であった。

<羽島市>

調査対象者 709 人のうち X 線検査を受診した者 703 人。うち所見が見られる者 136 人（「胸膜プラーク」130 人、うち疑い 5 人）

ア．主に直接職歴の者 60 人。うち所見が見られる者 24 人（「胸膜プラーク」23 人、うち疑い 1 人）

イ．主に間接職歴の者 59 人。うち所見が見られる者 10 人（「胸膜プラーク」10 人）

ウ．主に家庭内ばく露の者 95 人。うち所見が見られる者 27 人（「胸膜プラーク」26 人、うち疑い 1 人）

エ．主に立ち入り等の者 46 人。うち所見が見られる者 12 人（「胸膜プラーク」12 人）

オ．上記ばく露歴が確認できない者（その他）443 人。うち所見が見られる者 63 人（「胸膜

ブランク」59人、うち疑い3人)

所見が見られる者 136 人の内訳 (重複含む。) は、「胸水貯留」3人、「胸膜ブランク」130人 (うち疑い5人)、「肺野の間質影」4人であった。

労働現場等と関係しているばく露歴が確認できる者 (「ア」～「エ」の合計) は 260 人で、うち所見が見られる者 73 人の内訳 (重複含む。) は、「胸膜ブランク」71人 (うち疑い2人)、「肺野の間質影」2人であった。

労働現場等と関係しているばく露歴が確認できない者 (「オ」) は 443 人で、うち所見が見られる者 63 人の内訳 (重複含む。) は、「胸水貯留」3人、「胸膜ブランク」59人 (うち疑い3人)、「肺野の間質影」2人であった。

<奈良県>

調査対象者 596 人のうちX線検査を受診した者 594 人。うち所見が見られる者 80 人 (「胸膜ブランク」68人、うち疑い13人)

ア．主に直接職歴の者 104 人。うち所見が見られる者 19 人 (「胸膜ブランク」15人、うち疑い3人)

イ．主に間接職歴の者 43 人。うち所見が見られる者 6 人 (「胸膜ブランク」6人、うち疑い1人)

ウ．主に家庭内ばく露の者 85 人。うち所見が見られる者 16 人 (「胸膜ブランク」16人、うち疑い4人)

エ．主に立ち入り等の者 51 人。うち所見が見られる者 7 人 (「胸膜ブランク」6人、うち疑い2人)

オ．上記ばく露歴が確認できない者 (その他) 341 人。うち所見が見られる者 26 人 (「胸膜ブランク」22人、うち疑い3人)

所見が見られる者 80 人の内訳 (重複含む。) は、「胸水貯留」5人 (うち疑い3人)、「胸膜ブランク」68人 (うち疑い13人)、「びまん性胸膜肥厚」3人 (うち疑い2人)、「肺野の間質影」9人 (うち疑い5人)、「肺野の腫瘤状陰影 (肺がん等)」4人であった。

労働現場等と関係しているばく露歴が確認できる者 (「ア」～「エ」の合計) 287 人で、うち所見が見られる者 48 人の内訳 (重複含む。) は、「胸水貯留」3人 (うち疑い1人)、「胸膜ブランク」43人 (うち疑い10人)、「びまん性胸膜肥厚」1人、「肺野の間質影」3人 (うち疑い2人)、「肺野の腫瘤状陰影 (肺がん等)」2人であった。

労働現場等と関係しているばく露歴が確認できない者 (「オ」) は 307 人で、うち所見が見られる者 32 人の内訳 (重複含む。) は、「胸水貯留」2人 (うち疑い2人)、「胸膜ブランク」25人 (うち疑い3人)、「びまん性胸膜肥厚」2人 (うち疑い2人)、「肺野の間質影」6人 (うち疑い3人)、「肺野の腫瘤状陰影 (肺がん等)」2人であった。

<北九州市門司区>

調査対象者 181 人のうちX線検査を受診した者 181 人。うち所見が見られる者 14 人 (「胸膜ブランク」9人)

ア．主に直接職歴の者 65 人。うち所見が見られる者 9 人 (「胸膜ブランク」7人)

- イ．主に間接職歴の者 16 人。うち所見が見られる者 1 人（「胸膜プラーク」0 人）
- ウ．主に家庭内ばく露の者 38 人。うち所見が見られる者 2 人（「胸膜プラーク」1 人）
- エ．主に立ち入り等の者 25 人。うち所見が見られる者 2 人（「胸膜プラーク」1 人）
- オ．上記ばく露歴が確認できない者（その他）37 人。うち所見が見られる者 0 人（「胸膜プラーク」0 人）

所見が見られる者 14 人の内訳（重複含む。）は、「胸水貯留」2 人、「胸膜プラーク」9 人、「びまん性胸膜肥厚」1 人、「肺野の間質影」2 人、「肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）」3 名（うち疑い 1 人）であった。

労働現場等と関係しているばく露歴が確認できる者（「ア」～「エ」の合計）は 144 人で、うち所見が見られる者 14 人の内訳（重複含む。）は、「胸水貯留」2 人、「胸膜プラーク」9 人、「びまん性胸膜肥厚」1 人、「肺野の間質影」2 人、「肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）」3 名（うち疑い 1 人）であった。

労働現場等と関係しているばく露歴が確認できない者（「オ」）は 37 人で、うち所見が見られる者はいなかった。

(3) 平成22～25年度受診者のうち、医療の必要があると判断された者の経過把握結果について(巻末:表4-8参照)

平成22～25年度受診者のうち、医療の必要があると判断された者がその後、医療機関でどのような診断を受けているのか確認するため、本人から承諾を得て医療機関に照会を行った。また、石綿救済制度等による認定状況を本人や家族に問い合わせた。その結果は以下の通りである。

表4-7 平成22～25年度受診者のうち、医療の必要があると判断された者の経過把握結果について

		a 中皮腫		b 肺がん		c 石綿肺		d 良性石綿胸水		e びまん性胸膜肥厚	
		計	オ.その他	計	オ.その他	計	オ.その他	計	オ.その他	計	オ.その他
大阪府	診断	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	救済制度 労災制度					1					
尼崎市	診断	3 (0)	2 (0)	3 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	救済制度 労災制度	1									
鳥栖市	診断	0 (0)	0 (0)	2 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)
	救済制度 労災制度										
横浜市	診断	0 (0)	0 (0)	4 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)
	救済制度 労災制度									1	
羽島市	診断	0 (0)	0 (0)	9 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	救済制度 労災制度			4 2	2						
奈良県	診断	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	救済制度 労災制度	1						1			
北九州市	診断	0 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	救済制度 労災制度			1							
合計	診断	5 (0)	2 (0)	20 (3)	8 (1)	1 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	3 (0)	1 (0)
	救済制度	2	0	5	2	0	0	0	0	1	0
	労災制度	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0

() 内は疑い(内数)

(4) 平成22～25年度受診者のうち、平成26年度に受診しなかった者のアンケート結果

平成22～25年度受診者のうち、平成26年度調査に受診しなかった者に対して、調査に参加しなかった理由についてアンケート調査を行った。

「前回異常がなかったから」が44%で最も多く、「自覚症状(異常)がないから」「忙しく時間がないから」を理由とした者も多かった。また、「石綿関連以外の他疾患が判明し、治療中だから」を理由とした者も約12%であった。

表4-9 平成22～25年度受診者のうち、
平成26年度に受診しなかった者のアンケート結果

	計	
	(人)	(%)
平成26年度未受診者	1,737	100.0%
うち回答者	1,142	65.7%
受診しなかった理由		
前回異常がなかったから	499	43.7%
自覚症状(異常)がないから	245	21.5%
忙しく時間がないから	280	24.5%
住民健診で受けたから	95	8.3%
職場健診を受けたから	60	5.3%
人間ドックで受けたから	36	3.2%
石綿関連疾患が判明し、治療中だから	17	1.5%
石綿関連以外の他疾患が判明し、治療中だから	138	12.1%
その他の理由	335	29.3%

注：割合は回答者を分母として算出

5. 新規受診者の概要

調査計画書において、初年度参加時は全員に対して問診、胸部X線検査及び胸部CT検査を実施すること、2年目以降追跡時は全員に対して問診、胸部X線検査を実施し、胸部CT検査については有所見者のみに実施することを基本としている。平成22年度調査対象者及び平成23～26年度新規受診者について初年度参加時の状況について整理した。

(1) 調査対象者（巻末：表5-2～6参照、問診のみの者は除く）

第2期石綿の健康リスク調査における調査対象者数（実人数）は、7地域合計で4,978人であった。平成22年度の調査対象者は2,707人（調査対象者数に対する割合54%）、平成23年度新規受診者は839人（同17%）、平成24年度新規受診者は434人（同9%）、平成25年度新規受診者は499人（同10%）、平成26年度新規受診者は499人（同10%）であった。

表5-1 調査対象者数

区分	受診状況					調査対象者	
	H22	H23	H24	H25	H26		
平成22年度受診者		x	x	x	x	356	2,707
			x	x	x	132	
		x		x	x	45	
		x	x		x	26	
		x	x	x		22	
				x	x	136	
			x		x	35	
			x	x		20	
		x			x	16	
		x		x		23	
		x	x			20	
					x	143	
				x		83	
			x			54	
		x				78	
					1,518		
平成23年度新規受診者	x		x	x	x	311	839
	x			x	x	56	
	x		x		x	36	
	x		x	x		44	
	x				x	52	
	x			x		35	
	x		x			47	
	x					258	
平成24年度新規受診者	x	x		x	x	188	434
	x	x			x	53	
	x	x		x		46	
	x	x				147	
平成25年度新規受診者	x	x	x		x	260	499
	x	x	x			239	
平成26年度新規受診者	x	x	x	x		499	499
平成22年度調査対象者							2,707
平成23年度調査対象者							2,960
平成24年度調査対象者							2,877
平成25年度調査対象者							2,982
平成26年度調査対象者							3,133
実人数合計							4,978

注：問診のみを除外

(2) 医学的所見 (巻末:表5-8~10参照)

平成22年度調査対象者及び平成23~26年度新規受診者の医学的所見の状況は以下のとおりである。

表5-7 医学的所見の状況

項目	平成22年度調査対象者		平成23年度新規受診者		平成24年度新規受診者		平成25年度新規受診者		平成26年度新規受診者	
	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見
受診者計	2,693	2,448	837	687	433	399	496	453	499	466
所見あり ~	931	1,643	243	421	131	278	162	311	161	329
石綿関連所見あり ~	427	811	78	172	56	131	42	120	57	163
胸水貯留	3	7	3	1	3	3	3	3	4	4
胸膜ブランク (受診者に対する割合)	365 14%	723 30%	57 7%	130 19%	47 11%	109 27%	32 6%	94 21%	42 8%	124 27%
びまん性胸膜肥厚	11	14	2	4	2	1	2	1	5	9
胸膜腫瘍(中皮腫)疑い	-	5	-	1	-	0	-	1	-	1
肺野の間質影 (受診者に対する割合)	72 3%	132 5%	15 2%	39 6%	4 1%	23 6%	8 2%	31 7%	14 3%	38 8%
円形無気肺	-	11	-	2	-	3	-	1	-	5
肺野の腫瘤状陰影(肺がん等)	18	23	7	11	4	13	2	3	2	6
リンパ節の腫大	-	13	-	10	-	3	-	3	-	19
その他	571	1,213	183	312	80	206	133	260	114	258

6. 継続受診者の概要

平成 22～26 年度における X 線所見、C T 所見を整理し、所見の変化状況について確認した。

(1) 調査対象者

平成 22～26 年度に X 線検査または C T 検査を 2 回以上受診した者を調査対象者とした。前頁表 5 - 1 に基づき整理した調査対象者は表 6 - 1 に示すとおりである。

1 年後に受診した調査対象者は 2,961 人（うち X 線検査受診者 2,941 人、C T 検査受診者 1,211 人）2 年後に受診した調査対象者は 2,628 人（うち X 線検査受診者 2,618 人、C T 検査受診者 1,015 人）3 年後に受診した調査対象者は 2,274 人（うち X 線検査受診者 2,262 人、C T 検査受診者 947 人）4 年後に受診した調査対象者は 1,818 人（うち X 線検査受診者 1,808 人、C T 検査受診者 1,642 人）であった。

表 6 - 1 調査対象者数

区分	受診状況					調査対象者	
	H22	H23	H24	H25	H26		
1 年後に受診した者						2,121	2,961
	x					401	
	x	x				200	
	x	x	x			239	
2 年後に受診した者						2,042	2,628
	x					393	
	x	x				193	
3 年後に受診した者						1,890	2,274
	x					384	
4 年後に受診した者						1,818	1,818

注：問診のみを除外

表 6 - 2 調査対象者の属性

項目	区分	1 年後に受診した者		2 年後に受診した者		3 年後に受診した者		4 年後に受診した者	
		X 線検査	C T 検査	X 線検査	C T 検査	X 線検査	C T 検査	X 線検査	C T 検査
受診者計		2,941	1,211	2,618	1,015	2,262	947	1,808	1,642
性別	男性	1,552	720	1,367	590	1,169	555	923	837
	女性	1,389	491	1,251	425	1,093	392	885	805
生年(年代)	1910	2	2	2	2	2	2	2	2
	1920	92	61	83	51	70	45	49	45
	1930	694	361	608	304	507	263	405	376
	1940	1,138	494	1,016	414	879	373	712	634
	1950	546	198	500	157	448	172	365	330
	1960	341	74	300	69	256	71	205	189
	1970	116	19	98	15	93	19	64	60
	1980	12	2	11	3	7	2	6	6
	1990	0	0	0	0	0	0	0	0
ばく露歴分類	ア	625	308	545	247	465	239	371	333
	イ	256	114	228	88	213	92	157	143
	ウ	370	173	338	150	291	123	247	217
	エ	246	109	223	82	178	74	145	129
	オ	1,444	507	1,284	448	1,115	419	888	820
第 1 期受診	なし	1,322	592	1,100	447	829	409	543	535
	あり	1,619	619	1,518	568	1,433	538	1,265	1,107

注：問診のみを除外、割合は受診者を分母として算出

(2) 医学的所見の経年変化

X線所見の変化

1 年後に受診した者の所見ではX線検査を受診した 2,941 人のうち、「石綿関連所見あり」が 417 人（受診者に対する割合 14.2%）で初年度と変化がなかった。「胸水貯留」は 1 人から 5 人に、「びまん性胸膜肥厚」は 10 人から 13 人に増加したが、「胸膜プラーク」「肺野の間質影」は減少していた。

2 年後に受診した者の所見ではX線検査を受診した 2,618 人のうち、「石綿関連所見あり」が 369 人（同 14.1%）から 352 人（同 13.4%）に減少していた。「胸水貯留」は 0 人から 6 人に増加したが、「胸膜プラーク」「肺野の間質影」「肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）」は減少していた。

3 年後に受診した者の所見ではX線検査を受診した 2,262 人のうち、「石綿関連所見あり」が 314 人（同 13.9%）から 299 人（同 13.2%）に減少していた。「胸水貯留」は 1 人から 8 人に増加したが、「胸膜プラーク」「びまん性胸膜肥厚」「肺野の間質影」「肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）」は減少していた。

4 年後に受診した者の所見ではX線検査を受診した 1,808 人のうち、「石綿関連所見あり」が 262 人（同 14.5%）から 258 人（同 14.3%）に減少していた。「胸水貯留」は 0 人から 11 人に増加したが、「びまん性胸膜肥厚」「肺野の間質影」「肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）」は減少していた。

表 6 - 3 X線所見の変化

項目	1年後に受診した者の所見				2年後に受診した者の所見				3年後に受診した者の所見				4年後に受診した者の所見			
	初年度		1年後		初年度		2年後		初年度		3年後		初年度		4年後	
受診者計	2,941	100%	2,941	100%	2,618	100%	2,618	100%	2,262	100%	2,262	100%	1,808	100%	1,808	100%
所見あり ~	1,079	36.7%	1,108	37.7%	844	32.2%	895	34.2%	730	32.3%	800	35.4%	587	32.5%	660	36.5%
石綿関連所見あり ~	414	14.1%	417	14.2%	369	14.1%	352	13.4%	314	13.9%	299	13.2%	262	14.5%	258	14.3%
胸水貯留	1	0.0%	5 (1)	0.2%	0	0.0%	6 (0)	0.2%	1	0.0%	8 (0)	0.4%	0	0.0%	11 (0)	0.6%
胸膜プラーク	363	12.3%	362 (310)	12.3%	326	12.5%	315 (271)	12.0%	275	12.2%	274 (222)	12.1%	233	12.9%	233 (194)	12.9%
びまん性胸膜肥厚	10	0.3%	13 (8)	0.4%	6	0.2%	6 (4)	0.2%	4	0.2%	3 (3)	0.1%	4	0.2%	2 (1)	0.1%
胸膜腫瘍(中皮腫)疑い	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
肺野の間質影	55	1.9%	52 (31)	1.8%	47	1.8%	37 (18)	1.4%	41	1.8%	25 (15)	1.1%	35	1.9%	17 (8)	0.9%
円形無気肺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
肺野の腫瘤状陰影(肺がん等)	14	0.5%	14 (2)	0.5%	15	0.6%	8 (0)	0.3%	12	0.5%	4 (0)	0.2%	8	0.4%	5 (1)	0.3%
リンパ節の腫大	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	633	21.5%	668 (423)	22.7%	525	20.1%	592 (323)	22.6%	452	20.0%	545 (287)	24.1%	357	19.7%	442 (241)	24.4%

注：割合は受診者を分母として算出、()内は初年度にも所見を有した者

CT所見の変化

1 年後に受診した者の所見ではCT検査を受診した 1,211 人のうち、「石綿関連所見あり」が 821 人（受診者に対する割合 67.8%）から 790 人（同 65.2%）に減少していた。「胸水貯留」は 5 人から 6 人に、「びまん性胸膜肥厚」は 11 人から 14 人に、「胸膜腫瘍（中皮腫）疑い」は 1 人から 5 人に、「リンパ節の腫大」は 11 人から 14 人に増加したが、「胸膜ブランク」「肺野の間質影」は減少していた。

2 年後に受診した者の所見ではCT検査を受診した 1,015 人のうち、「石綿関連所見あり」が 703 人（同 69.3%）から 686 人（同 67.6%）に減少していた。「胸水貯留」は 4 人から 9 人に、「胸膜ブランク」は 650 人から 652 人に、「びまん性胸膜肥厚」は 8 人から 9 人に、「円形無気肺」は 8 人から 11 人に増加したが、「胸膜腫瘍（中皮腫）疑い」「肺野の間質影」「肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）」「リンパ節の腫大」は減少していた。

3 年後に受診した者の所見ではCT検査を受診した 947 人のうち、「石綿関連所見あり」が 592 人（同 62.5%）から 607 人（同 64.1%）に増加していた。「胸水貯留」は 2 人から 8 人に、「胸膜ブランク」は 554 人から 575 人に、「びまん性胸膜肥厚」は 6 人から 7 人に、「円形無気肺」は 7 人から 9 人に増加したが、「胸膜腫瘍（中皮腫）疑い」「肺野の間質影」「肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）」「リンパ節の腫大」は減少していた。

4 年後に受診した者の所見ではCT検査を受診した 1,642 人のうち、「石綿関連所見あり」が 545 人（同 33.2%）から 587 人（同 35.7%）に増加していた。「胸水貯留」は 2 人から 10 人に、「胸膜ブランク」は 500 人から 543 人に、「びまん性胸膜肥厚」は 5 人から 7 人に、「円形無気肺」は 4 人から 7 人に、「リンパ節の腫大」は 5 人から 9 人に増加したが、「肺野の間質影」「肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）」は減少していた。

表 6 - 4 CT所見の変化

項目	1年後に受診した者の所見		2年後に受診した者の所見		3年後に受診した者の所見		4年後に受診した者の所見	
	初年度	1年後	初年度	2年後	初年度	3年後	初年度	4年後
受診者計	1,211 100%	1,211 100%	1,015 100%	1,015 100%	947 100%	947 100%	1,642 100%	1,642 100%
所見あり ~	1,107 91.4%	1,079 89.1%	896 88.3%	907 89.4%	788 83.2%	812 85.7%	1,112 67.7%	1,270 77.3%
石綿関連所見あり ~	821 67.8%	790 65.2%	703 69.3%	686 67.6%	592 62.5%	607 64.1%	545 33.2%	587 35.7%
胸水貯留	5 0.4%	6 (1) 0.5%	4 0.4%	9 (1) 0.9%	2 0.2%	8 (0) 0.8%	2 0.1%	10 (0) 0.6%
胸膜ブランク	742 61.3%	721 (693) 59.5%	650 64.0%	652 (625) 64.2%	554 58.5%	575 (539) 60.7%	500 30.5%	543 (472) 33.1%
びまん性胸膜肥厚	11 0.9%	14 (10) 1.2%	8 0.8%	9 (5) 0.9%	6 0.6%	7 (3) 0.7%	5 0.3%	7 (3) 0.4%
胸膜腫瘍(中皮腫)疑い	1 0.1%	5 (0) 0.4%	3 0.3%	2 (0) 0.2%	2 0.2%	1 (0) 0.1%	3 0.2%	3 (0) 0.2%
肺野の間質影	116 9.6%	95 (74) 7.8%	87 8.6%	81 (46) 8.0%	67 7.1%	64 (35) 6.8%	70 4.3%	57 (33) 3.5%
円形無気肺	13 1.1%	13 (11) 1.1%	8 0.8%	11 (8) 1.1%	7 0.7%	9 (7) 1.0%	4 0.2%	7 (4) 0.4%
肺野の腫瘤状陰影(肺がん等)	21 1.7%	21 (3) 1.7%	17 1.7%	16 (0) 1.6%	10 1.1%	5 (0) 0.5%	13 0.8%	7 (0) 0.4%
リンパ節の腫大	11 0.9%	14 (4) 1.2%	9 0.9%	6 (3) 0.6%	10 1.1%	5 (3) 0.5%	5 0.3%	9 (2) 0.5%
その他	667 55.1%	679 (521) 56.1%	519 51.1%	599 (405) 59.0%	459 48.5%	553 (364) 58.4%	812 49.5%	1,038 (716) 63.2%

注 1：割合は受診者を分母として算出、() 内は初年度にも所見を有した者。

注 2：調査計画書において、2 年目以降追跡時（平成 23～25 年度）のCT検査は有所見者のみに実施することを基本としている。従って、1～3 年後に受診した者の所見は、有所見者に偏った結果であることに注意が必要である。

初年度「所見なし」で1～4年後に石綿関連所見～を生じた者の所見変化は表6-5に、1～4年後に「胸水貯留」「胸膜腫瘍(中皮腫)疑い」「肺野の腫瘤状陰影(肺がん等)」を有する者の所見変化は表6-6に示すとおりである。

初年度に「所見なし」で1～4年後に生じた石綿関連所見は「胸水貯留」1人、「胸膜プラーク」41人、「肺野の間質影」7人、「肺野の腫瘤状陰影(肺がん等)」4人、「リンパ節の腫大」1人であった。

1～4年後に「胸水貯留」を有する者は「胸膜プラーク」「びまん性胸膜肥厚」「胸膜腫瘍(中皮腫)疑い」「肺野の間質影」「円形無気肺」を同時に有し、過去に「胸膜プラーク」を有する者が多かった。

1～4年後に「胸膜腫瘍(中皮腫)疑い」「肺野の腫瘤状陰影(肺がん等)」を有する者は過去に「胸膜プラーク」を有する者が多かった。

表6-5 初年度「所見なし」のうち石綿関連所見～を生じた者

性別	生年	X線所見						CT所見			ばく露分類		
		H22	H23	H24	H25	H26	H22	H23	H24	H25		H26	
1	男性	1940	なし	なし	なし	なし	なし	なし				なし	ア
2	男性	1930	なし	なし	なし	なし	なし	なし	疑				オ
3	男性	1940	なし	なし	なし	なし	なし	なし	疑	なし			オ
4	女性	1940	なし	なし	なし	なし	なし	なし			なし		ウ
5	男性	1940	なし	なし	なし	なし	なし	なし				なし	ア
6	男性	1960	なし	なし	なし	なし	なし	なし			なし		ア
7	男性	1940	なし	疑	なし	なし	なし	なし		疑			ア
8	女性	1960	なし	なし	なし	なし	なし	なし		疑	疑		ウ
9	男性	1930	なし	なし	なし	なし	なし	なし					ア
10	男性	1930	なし	なし	なし	なし	なし	なし					ア
11	男性	1930	なし	なし	なし	なし	なし	なし					ア
12	男性	1940	なし	なし	なし	なし	なし	なし					オ
13	男性	1940	なし	なし	なし	なし	疑	なし					イ
14	男性	1930	なし	なし	なし	なし	なし	なし					エ
15	女性	1930	なし	なし	なし	なし	なし	なし					オ
16	女性	1950	なし	なし	なし	なし	なし	なし					ア
17	男性	1930	なし	なし	なし	なし	なし	なし					ア
18	男性	1940	なし	なし	なし	なし	なし	なし				疑	エ
19	女性	1940	なし	なし	なし	なし	なし	なし					ア
20	男性	1930	なし	なし	なし	なし	なし	なし					ア
21	男性	1940	なし	なし	なし	なし	なし	なし					オ
22	女性	1940	なし	なし	なし	なし	なし	なし					ウ
23	女性	1940	なし	なし	なし	なし	なし	なし					オ
24	女性	1970	なし	なし	なし	なし	なし	なし					イ
25	女性	1950	なし	なし	なし	なし	なし	なし					オ
26	女性	1930	なし	なし	なし	なし	なし	なし					イ
27	男性	1960	なし	なし	なし	なし	なし	なし					オ
28	男性	1940	なし	なし	なし	なし	なし	なし					オ
29	女性	1930	なし	なし	なし	なし	なし	なし					オ
30	男性	1930	なし	なし	なし	なし	なし	なし					ア
31	女性	1940	なし	なし	なし	なし	なし	なし				疑	オ
32	女性	1940	なし	なし	なし	なし	なし	なし				疑	オ
33	女性	1950	なし	なし	なし	なし	なし	なし				疑	オ
34	男性	1930	なし	なし	疑	なし	なし	なし				疑	ア
35	女性	1950	なし	なし	なし	なし	なし	なし				疑	オ
36	女性	1940	なし	なし	なし	なし	なし	なし				疑	オ
37	男性	1940	なし	なし	なし	なし	なし	なし				疑	ア
38	女性	1940	なし	なし	なし	なし	なし	なし					オ
39	男性	1950	なし	なし	なし	なし	なし	なし		なし			オ
40	女性	1930	なし	なし	なし	なし	なし	なし		なし			ウ
41	女性	1940	なし	なし	なし	なし	なし	なし		なし			オ
42	男性	1950	なし	なし	なし	なし	なし	なし		なし			ア
43	男性	1930	なし	なし	なし	なし	なし	なし		なし			ア
44	男性	1930	なし	なし	なし	なし	なし	なし		なし			イ
45	男性	1940	なし	なし	なし	なし	なし	なし		なし			エ
46	男性	1940	なし	なし	なし	なし	なし	なし		なし			ウ
47	男性	1940	なし	なし	なし	なし	なし	なし		なし		疑	ア
48	男性	1940	なし	なし	なし	なし	なし	なし		なし			イ
49	女性	1940	なし	なし	なし	なし	なし	なし		なし			オ
50	男性	1940	なし	なし	なし	なし	なし	なし		なし			オ
51	男性	1940	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし				オ
52	男性	1950	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし			オ
53	女性	1950	なし	なし	なし	なし	疑	なし		なし		疑	オ

表 6 - 6 「 胸水貯留」を有する者の所見変化

性別	生年	X線所見					CT所見				ばく露分類		
		H22	H23	H24	H25	H26	H22	H23	H24	H25		H26	
1	男性						疑		疑				イ
2	男性												ア
3	男性												エ
4	男性		疑										ア
5	男性												オ
6	男性	疑	なし	なし									ア
7	男性		疑			疑	疑					疑	ア
8	男性												オ
9	男性												ア
10	男性						疑	疑					ア
11	男性						疑	疑					オ
12	女性												イ
13	男性												ア
14	男性	なし	なし			なし	なし						ア
15	男性	なし											ア
16	女性		なし			なし							オ
17	女性		なし	なし	なし	なし			疑	なし			ウ
18	男性	疑	なし	なし	なし	なし							オ
19	女性												ア
20	男性												イ
21	男性							疑					イ
22	男性	なし	なし		なし		なし						オ
23	男性												ア

表 6 - 6 「 胸膜腫瘍（中皮腫）疑い」を有する者の所見変化

性別	生年	X線所見					CT所見				ばく露分類		
		H22	H23	H24	H25	H26	H22	H23	H24	H25		H26	
1	男性												イ
2	男性		なし	なし		なし							ウ
3	男性					なし						なし	ア
4	男性												ア
5	男性			疑									オ
6	男性								疑				イ
7	男性	なし	なし		なし	疑	疑						オ
8	男性				疑	疑	疑						ア
9	男性											疑	エ

表 6 - 6 「 肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）」を有する者の所見変化

性別	生年	X線所見					CT所見				ばく露分類		
		H22	H23	H24	H25	H26	H22	H23	H24	H25		H26	
1	男性												ア
2	女性												ア
3	女性												オ
4	男性	なし	なし	なし	なし	なし	疑						エ
5	男性												ア
6	男性	なし	なし	なし	疑								オ
7	女性												オ
8	男性				なし	疑							オ
9	男性												オ
10	男性												ア
11	男性			なし	なし	なし							オ
12	女性	なし		なし	なし	なし							オ
13	男性	なし	なし	なし	なし	なし							オ
14	女性												オ
15	男性												オ
16	男性	疑		なし	なし	なし							イ
17	男性												ア
18	女性												オ
19	男性												オ
20	女性	なし	なし	なし									オ
21	女性	なし											イ
22	男性			なし									ア
23	男性						疑						オ
24	男性		疑	疑	疑								ア
25	男性												エ
26	女性		なし	疑									オ
27	女性	なし	なし	なし	なし								エ
28	女性			疑									ア
29	男性		疑										エ
30	男性	なし	なし	なし		なし							オ
31	男性	なし	なし	なし									ア
32	女性	なし	疑	疑	疑		疑			疑	疑		オ
33	男性	なし											オ
34	男性			なし	疑	なし							オ
35	女性		なし	なし	なし								オ
36	男性		なし	なし	なし	なし							ア
37	男性				疑	疑	疑						ア
38	男性			なし									ア
39	男性												オ
40	女性	なし	なし	なし	なし	なし							イ
41	男性												ア
42	女性												ア
43	男性						疑				疑		ア
44	女性					なし	なし						ア
45	男性												ア
46	女性				なし	疑				なし		疑	オ

X線検査とCT検査の比較

平成22～26年度の5年間にX線検査・CT検査ともに受診した対象者428人について、X線検査とCT検査における所見の発見状況を比較するために、年度別の有所見割合を整理した。

「石綿関連所見あり」では、X線有所見割合は45.6～48.6%（受診者に対する割合）、CT所見有所見割合は93.2～93.7%（同）であり、約45ポイントの差が認められた。

「胸膜プラーク」では、X線有所見割合は43.0～45.6%（同）、CT所見有所見割合は90.7～92.3%（同）であり、約45ポイントの差が認められた。

「肺野の間質影」では、X線有所見割合は2.1～4.7%（同）、CT所見有所見割合は6.1～9.6%（同）であり、約4ポイントの差が認められた。

X線検査に比べてCT検査では約2倍程度の所見を発見していた。

表6-7 X線検査とCT検査の比較

項目	平成22年度所見		平成23年度所見		平成24年度所見		平成25年度所見		平成26年度所見			
	X線	CT	X線	CT	X線	CT	X線	CT	X線	CT		
受診者計	428	100%	428	100%	428	100%	428	100%	428	100%	428	100%
所見あり～	253	59.1%	423	98.8%	256	59.8%	427	99.8%	264	61.7%	426	99.5%
石綿関連所見あり～	203	47.4%	400	93.5%	208	48.6%	401	93.7%	195	45.6%	399	93.2%
胸水貯留	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%	2	0.5%	2	0.5%	4	0.9%
胸膜プラーク	188	43.9%	388	90.7%	195	45.6%	391	91.4%	184	43.0%	394	92.1%
びまん性胸膜肥厚	2	0.5%	4	0.9%	4	0.9%	4	0.9%	2	0.5%	5	1.2%
胸膜腫瘍(中皮腫)疑い	-	-	1	0.2%	-	-	1	0.2%	-	-	0	0.0%
肺野の間質影	20	4.7%	36	8.4%	15	3.5%	33	7.7%	13	3.0%	41	9.6%
円形無気肺	-	-	4	0.9%	-	-	4	0.9%	-	-	5	1.2%
肺野の腫瘤状陰影(肺がん等)	5	1.2%	6	1.4%	3	0.7%	3	0.7%	1	0.2%	8	1.9%
リンパ節の腫大	-	-	2	0.5%	-	-	3	0.7%	-	-	0	0.0%
その他	71	16.6%	206	48.1%	82	19.2%	212	49.5%	75	17.5%	252	58.9%
	91	21.3%	263	61.4%	91	21.3%	263	61.4%	91	21.3%	273	63.8%

注1：調査計画書において、2年目以降追跡時（平成23～25年度）のCT検査は有所見者のみに実施することを基本としている。従って、有所見者に偏った結果であることに注意が必要である。

注2：割合は受診者を分母として算出。

注3：X線検査の読影とCT検査の読影は必ずしも別々に行われていないため、互いの読影の結果に影響を及ぼしている可能性があることに注意が必要である。

7. 第2期調査（5年間）のまとめ

(1) 受診状況

平成22～26年度の調査対象者数は7地域合計で延べ14,664人、実人数4,978人であり、ばく露歴分類「ア．直接職歴」1,127人、「イ．間接職歴」411人、「ウ．家庭内ばく露」562人、「エ．立ち入り等」422人、「オ．その他」2,456人であった。

表7-1 平成22～26年度調査対象者（年齢別）

年齢階層	合計		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満	395	213	107	58	96	50	80	45	61	30	51	30
40～49歳	1382	728	270	140	302	163	286	152	271	143	253	130
50～59歳	2125	1179	448	244	438	241	404	225	399	223	436	246
60～69歳	5071	2452	979	485	1081	511	989	482	1002	486	1020	488
70～79歳	4591	1967	754	327	879	371	919	398	972	415	1067	456
80～89歳	1072	405	151	48	174	69	198	75	250	98	299	115
90～99歳	28	7	2	0	3	0	7	2	8	2	8	3
100歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	14664	6951	2711	1302	2973	1405	2883	1379	2963	1397	3134	1468

(2) 医学的所見

平成 22～26 年度の石綿関連所見の有所見率は表 7-2 に示すとおりである。

胸部 X 線検査受診者 4,955 人（実人数）に基づく胸部 X 線検査の有所見率は 15.1%であった。所見別では「胸膜プラーク」11.9%が最も高く、次いで「肺野の間質影」2.6%であった。

胸部 CT 検査受診者 4,652 人（実人数）に基づく胸部 CT 検査の有所見率は 33.2%であった。所見別では「胸膜プラーク」27.8%が最も高く、次いで「肺野の間質影」5.9%、「肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）」1.5%、「リンパ節の腫大」1.2%であった。

表 7 - 2 平成 22～26 年度石綿関連所見の有所見率（胸部 X 線検査）

	実人数		延べ人数		H22		H23		H24		H25		H26	
胸部 X 線検査受診者	4,955	100.0%	14,609	100.0%	2,697	100.0%	2,959	100.0%	2,876	100.0%	2,956	100.0%	3,121	100.0%
石綿関連所見(疑いを含む)	747	15.1%	2,014	13.8%	455	16.9%	406	13.7%	378	13.1%	363	12.3%	412	13.2%
胸水貯留	37	0.7%	49	0.3%	4	0.1%	9	0.3%	7	0.2%	9	0.3%	20	0.6%
胸膜プラーク(胸膜肥厚斑)	589	11.9%	1,769	12.1%	395	14.6%	348	11.8%	342	11.9%	330	11.2%	354	11.3%
びまん性胸膜肥厚	28	0.6%	46	0.3%	11	0.4%	12	0.4%	8	0.3%	7	0.2%	8	0.3%
肺野の間質影	128	2.6%	248	1.7%	72	2.7%	53	1.8%	43	1.5%	31	1.0%	49	1.6%
肺野の腫瘤状陰影(肺がん等)	38	0.8%	63	0.4%	19	0.7%	15	0.5%	9	0.3%	7	0.2%	13	0.4%

表 7 - 2 平成 22～26 年度石綿関連所見の有所見率（胸部 CT 検査）

	実人数		延べ人数		H22		H23		H24		H25		H26	
胸部 CT 検査受診者	4,652	100.0%	9,570	100.0%	2,403	100.0%	1,550	100.0%	1,319	100.0%	1,295	100.0%	3,003	100.0%
石綿関連所見(疑いを含む)	1,543	33.2%	4,107	42.9%	792	33.0%	776	50.1%	777	58.9%	762	58.8%	1,000	33.3%
胸水貯留	34	0.7%	52	0.5%	7	0.3%	8	0.5%	10	0.8%	9	0.7%	18	0.6%
胸膜プラーク(胸膜肥厚斑)	1,294	27.8%	3,714	38.8%	709	29.5%	703	45.4%	724	54.9%	710	54.8%	868	28.9%
びまん性胸膜肥厚	41	0.9%	66	0.7%	14	0.6%	17	1.1%	10	0.8%	7	0.5%	18	0.6%
胸膜腫瘍(中皮腫)疑い	16	0.3%	22	0.2%	6	0.2%	6	0.4%	2	0.2%	2	0.2%	6	0.2%
肺野の間質影	273	5.9%	565	5.9%	127	5.3%	103	6.6%	103	7.8%	84	6.5%	148	4.9%
円形無気肺	29	0.6%	60	0.6%	11	0.5%	10	0.6%	14	1.1%	11	0.8%	14	0.5%
肺野の腫瘤状陰影(肺がん等)	69	1.5%	111	1.2%	24	1.0%	23	1.5%	34	2.6%	11	0.8%	19	0.6%
リンパ節の腫大	56	1.2%	83	0.9%	12	0.5%	19	1.2%	8	0.6%	7	0.5%	37	1.2%

注：2 年目以降（平成 23～25 年度）追跡時の CT 検査は有所見者のみに実施したことに留意が必要である。

(3) 医学的所見の変化(改善・変化なし・悪化)

平成 22 年度と平成 26 年度の調査に参加した者を対象として、平成 22 年度と平成 26 年度における石綿関連所見の変化(4 年後)を整理した。なお、石綿関連所見のなかった者や平成 26 年度に胸部 CT 検査を受診しなかった者などを除外した 1,334 人を対象とした。

平成 22 年度あるいは平成 26 年度調査において「胸水貯留」を有した者は 11 人で、改善した者 2 人、変化がなかった者 3 人、悪化した者 6 人であった。

同様に「胸膜プラーク」を有した者は 555 人で、改善した者 18 人、変化がなかった者 478 人、悪化した者 59 人であった。

「びまん性胸膜肥厚」を有した者は 7 人で、変化がなかった者 3 人、悪化した者 4 人であった。

「胸膜腫瘍(中皮腫疑い)」を有した者は 3 人で、全員が悪化していた。

「肺野の間質影」を有した者は 75 人で、改善した者 17 人、変化がなかった者 36 人、悪化した者 22 人であった。

「円形無気肺」を有した者は 7 人で、変化がなかった者 4 人、悪化した者 3 人であった。

「肺野の腫瘤状陰影(肺がん等)」を有した者は 14 人で、改善した者 5 人、変化がなかった者 4 人、悪化した者 5 人であった。

「リンパ節の腫大」を有した者は 11 人で、改善した者 1 人、変化がなかった者 4 人、悪化した者 6 人であった。

表 7 - 3 石綿関連所見の変化(4 年後)

	計		改善		変化なし		悪化	
対象者数	1,334	71.6%						
胸水貯留	11	0.6%	2	18.2%	3	27.3%	6	54.5%
胸膜プラーク	555	29.8%	18	3.2%	478	86.1%	59	10.6%
びまん性胸膜肥厚	7	0.4%	0	0.0%	3	42.9%	4	57.1%
胸膜腫瘍(中皮腫)疑い	3	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	3	100.0%
肺野の間質影	75	4.0%	17	22.7%	36	48.0%	22	29.3%
円形無気肺	7	0.4%	0	0.0%	4	57.1%	3	42.9%
肺野の腫瘤状陰影(肺がん等)	14	0.8%	5	35.7%	4	28.6%	5	35.7%
リンパ節の腫大	11	0.6%	1	9.1%	4	36.4%	6	54.5%
その他	1,160	62.2%	88	7.6%	846	72.9%	226	19.5%

(4) 石綿関連疾患の診断状況

平成 22～26 年度受診者のうち、石綿関連疾患と診断された者は 48 人であった。疾患別では、「中皮腫」9 人、「肺がん」30 人、「石綿肺」5 人、「良性石綿胸水」2 人、「びまん性胸膜肥厚」2 人であり、ばく露歴「ア．直接職歴」「オ．その他」に多かった。

また、平成 26 年度に音信不通などによりフォローアップができなかった者について住民基本台帳、人口動態調査等による確認を行った結果、105 人が死亡し、うち 4 名が石綿関連であることが明らかとなった。

表 7 - 4 石綿関連疾患と診断された者の診断状況

		ばく露歴					合計
		ア．直接職歴	イ．間接職歴	ウ．家庭内	エ．立入等	オ．その他	
中皮腫	男性	6	1	0	0	0	7
	女性	0	0	0	0	2	2
	計	6	1	0	0	2	9
肺がん	男性	9	0	1	0	7	17
	女性	4	1	3	0	5	13
	計	13	1	4	0	12	30
石綿肺	男性	4	0	0	0	0	4
	女性	1	0	0	0	0	1
	計	5	0	0	0	0	5
良性石綿胸水	男性	2	0	0	0	0	2
	女性	0	0	0	0	0	0
	計	2	0	0	0	0	2
びまん性胸膜肥厚	男性	2	0	0	0	0	2
	女性	0	0	0	0	0	0
	計	2	0	0	0	0	2
合計	男性	23	1	1	0	7	32
	女性	5	1	3	0	7	16
	計	28	2	4	0	14	48

(5) 受診者アンケート

第2期石綿の健康リスク調査を総括し今後の健康管理に役立てるため、調査参加者全員を対象に、参加理由や参加前後における不安感の変化等に関するアンケート調査を実施した。

結果概要

アンケートへの回答数は3,375人であった。

第2期石綿の健康リスク調査には、健康に不安を感じた者（全体の79%）が、早期発見・早期治療（61%）、健康影響の有無確認（67%）、安心感を得ること（61%）を目的として調査に参加した。

調査に参加した結果、不安が減少したと感じた者は68%で、不安が増加したと感じた者が9%であった。

検査の結果、異常が見つかった者は39%で、そのうち、治療が必要な者が5%であった。

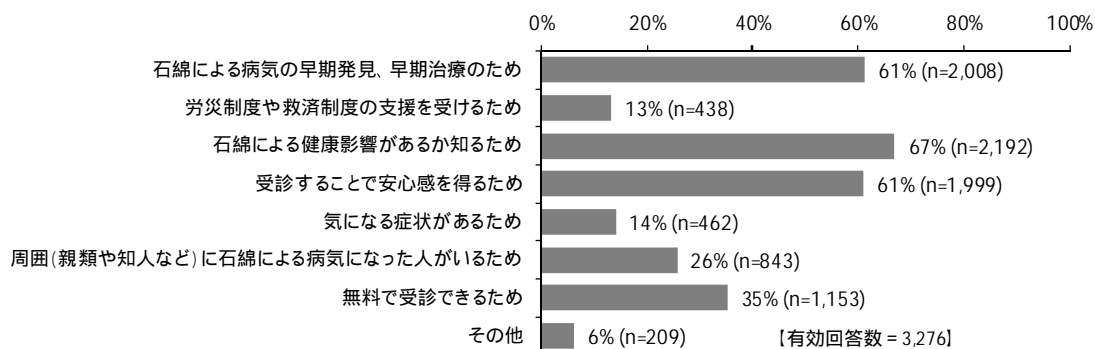
調査に参加して、異常の有無がはっきりしたこと（65%）、石綿による健康影響の情報が得られたこと（48%）を良かったと評価していた。

毎年あるいは数年に一度の検査を希望している者は91%で、異常がなかった者などが調査に参加したくないと考えている。

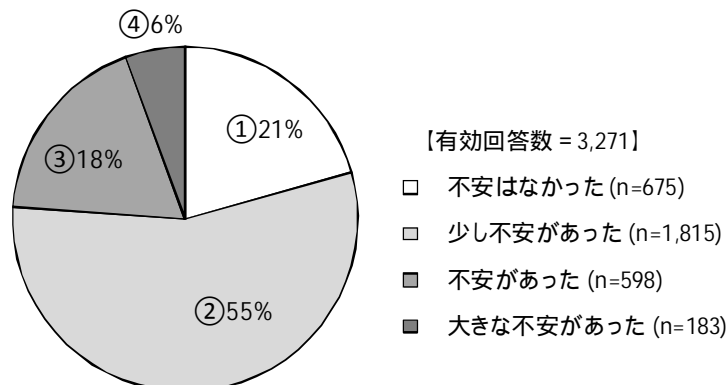
結果

問1. 健康リスク調査に参加された理由について、あてはまるものを選んでください。

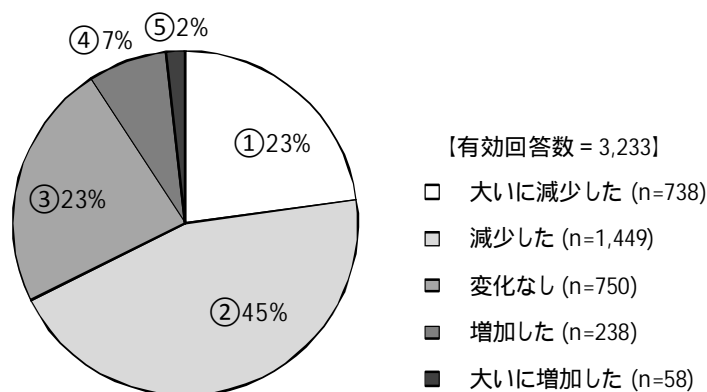
【複数回答可】



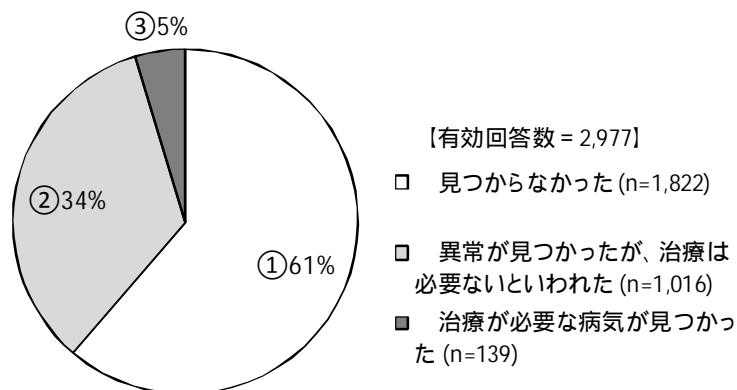
問2 . 健康リスク調査に参加する前は、石綿による健康影響に対する不安はありましたか。
あてはまるものを選んでください。【1つのみ回答】



問3 . 健康リスク調査に参加した結果、石綿による健康影響に対する不安は、健康リスク調査に参加する前と比べてどのように変化しましたか。あてはまるものを選んでください。
【1つのみ回答】

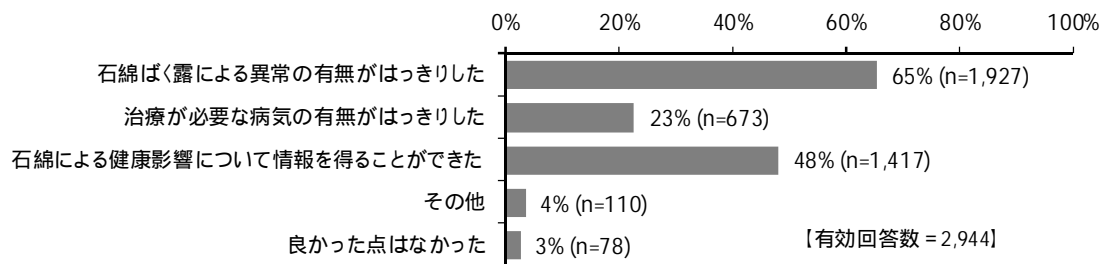


問4 . 健康リスク調査における検査の結果、これまでに何らかの異常や病気が見つかりましたか。あてはまるものを選んでください。【1つのみ回答】

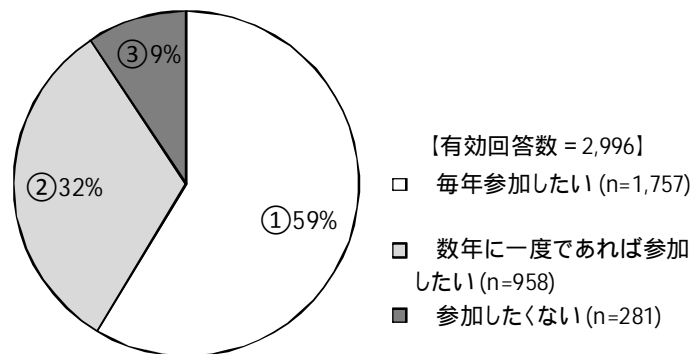


問5 . 健康リスク調査に参加して良かった点は何ですか。あてはまるものを選んでください。

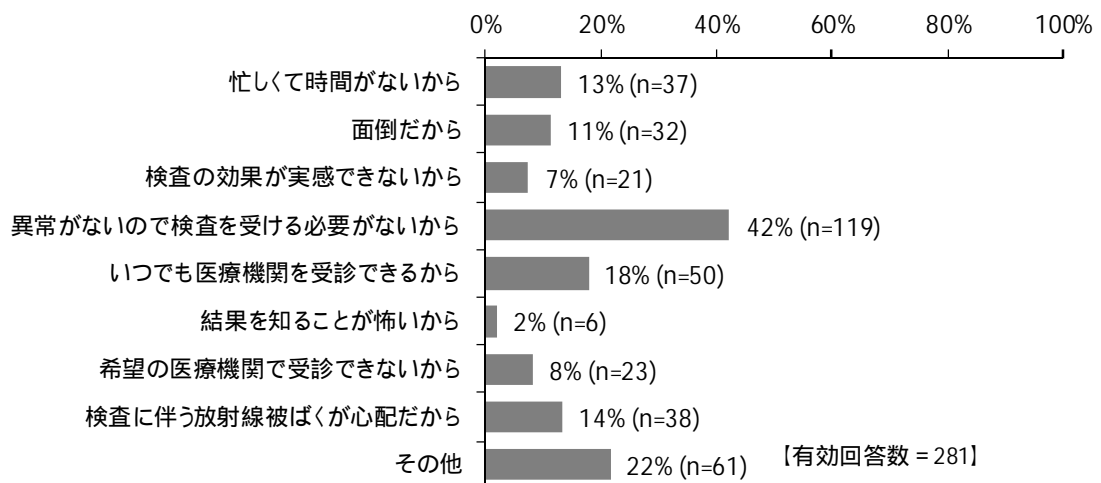
【複数回答可】



問6 (1). 今後も同じような調査が実施されれば、参加したいですか。あてはまるものを選んでください。【1つのみ回答】



問6 (2). (1) で「参加したくない」を選んだ方は、その理由は何ですか。あてはまるものを選んでください。【複数回答可】



8. 平成26年度の7地域合計の調査結果のまとめ

(1) 受診状況について

7地域合計の受診者3,134人を年代別にみると60歳代(受診者に対する割合33%)、70歳代(同34%)の受診者が多かった。

受診者3,134人のうち、平成26年度新規受診者は500人(受診者に対する割合16%)で、平成22~25年度に受診した者(継続受診者)は2,634人(同84%)であった。新規受診者の割合は、尼崎市(同33%)、大阪府(同29%)、北九州市(同27%)で高かった。第2期リスク調査に参加し平成26年度に受診しなかった者約1,700人の受診しなかった理由としては、「前回異常がなかったから」「自覚症状(異常)がないから」「忙しく時間がないから」が多かった。

(2) ばく露歴と医学的所見について

問診によるばく露歴確認の結果、7地域合計の受診者3,134人のうち、「ア.主に直接職歴」の者は22%(受診者に対する割合679人)、「イ.主に間接職歴」の者は8%(同255人)、「ウ.主に家庭内ばく露」の者は12%(同384人)、「エ.主に立ち入り等」の者は8%(同261人)、「オ.ア~エのばく露歴が確認できない(その他)」の者は50%(同1,555人)であった。

このうち、労働現場等と関連しているばく露歴が確認できない者(ばく露区分「オ」)の地域ごとの割合は、大阪府35%(同)、尼崎市57%(同)、鳥栖市34%(同)、横浜市56%(同)、羽島市63%(同)、奈良県52%(同)、北九州市20%(同)であり、いずれの地域においても労働現場等と関連しているばく露歴が確認できない者が一定以上いた。

X線検査受診者3,121人のうち、石綿ばく露特有の所見である「胸膜ブランク」が見られた者は7地域合計で354人(受診者に対する割合11%)であった。

労働現場等と関連しているばく露歴が確認できる者1,571人(ばく露区分「ア」~「エ」の合計)のうち、「胸膜ブランク」が見られた者は7地域合計で220人(同14%)であり、羽島市(同27%)で高かった。

労働現場等と関連しているばく露歴が確認できない者1,550人(ばく露区分「オ」)のうち、「胸膜ブランク」が見られた者は7地域合計で134人(同9%)であり、羽島市(同13%)で高かった。

X線検査受診者3,121人のうち、肺線維化所見である「肺野の間質影」が見られた者は7地域合計で49人(受診者に対する割合2%、うち「胸膜ブランク」あり11人)であった。労働現場等と関連しているばく露歴が確認できる者1,571人(ばく露区分「ア」~「エ」の合計)のうち、「肺野の間質影」が見られた者は7地域合計で32人(同2%、うち「胸膜ブランク」あり7人)であり、尼崎市(同4%)で高かった。

労働現場等と関連しているばく露歴が確認できない者 1,550 人（ばく露区分「オ」）のうち、「肺野の間質影」が見られた者は 7 地域合計で 17 人（同 1%、うち「胸膜プラーク」あり 4 人）であった。

CT 所見の変化において、1～4 年後に「胸水貯留」を有する者 23 人のうち、同時に確認された所見は「胸膜プラーク」15 人、「びまん性胸膜肥厚」2 人、「胸膜腫瘍（中皮腫）疑い」2 人、「円形無気肺」2 人であった。初年度に「胸膜プラーク」を有する者が多かった。

表2 各地域の調査概要

	大阪府泉南地域等	尼崎市	鳥栖市	横浜市鶴見区
調査対象者	原則として次の～を満たす者 平成2年以前に泉南地域（岸和田市、貝塚市、泉佐野市、泉南市、阪南市、熊取町、田尻町、岬町）、大阪市及び河内長野市に居住していた者 大阪府が検査を実施する指定医療機関等で検査を受けることができる者 本調査の内容を理解し、調査の協力に同意する者	原則として、次の～を満たす者 昭和30年～50年に尼崎市に居住していた者 尼崎市が検査を実施する指定医療機関等で検査を受けることができる者 本調査の内容を理解し、調査の協力に同意する者	原則として、次の～を満たす者 昭和33年～61年に鳥栖市に居住していた者 鳥栖市が検査を実施する指定医療機関等で検査を受けることができる者 本調査の内容を理解し、調査の協力に同意する者	原則として、次の～を満たす者 平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者 横浜市が検査を実施する指定医療機関等で検査を受けることができる者 本調査の内容を理解し、調査の協力に同意する者 また、平成17年度以降にイーアンドエーマテリアルが実施した健康診断を受診した者も対象としている。
調査方法	1 確認（府保健所において実施） ・問診 ・調査の同意 2 精密診断（指定医療機関及び府の財団法人が所有する検診車を利用し実施） ・胸部X線検査 ・胸部CT検査	1 1次検査（尼崎市保健所において実施） ・問診 ・調査の同意 ・胸部X線検査 2 精密診断（指定医療機関において実施） ・胸部CT検査	1 確認（鳥栖市保健センターにおいて実施） ・問診 ・調査の同意 2 精密診断（指定医療機関において実施） ・胸部X線検査 ・胸部CT検査	1 確認（横浜市において実施） ・問診 ・調査の同意 2 精密診断（指定医療機関において実施） ・胸部X線検査 ・胸部CT検査
読影	指定医療機関及び財団法人大阪がん予防検診センターにおいて1次読影の後、大阪府アスベスト健康対策専門委員会において、所見を確認	指定医療機関において1次読影の後、尼崎市アスベスト対策専門委員会読影部会において、所見を確認。	指定医療機関で1次読影の後、鳥栖市石綿健康対策専門委員会において、所見を確認	指定医療機関で1次読影の後、横浜市石綿ばく露健康リスク調査専門委員会において、所見を確認
	羽島市	奈良県	北九州市門司区	
調査対象者	原則として次の～を満たす者 平成元年以前に羽島市に居住していた者 羽島市が検査を実施する指定医療機関等で検査を受けることができる者 本調査の内容を理解し、調査の協力に同意する者 また、平成17年度以降にニチアス羽島工場が実施した健康診断を受診した者も対象としている。	原則として次の～を満たす者 平成元年以前に奈良県に居住していた者 奈良県が検査を実施する指定医療機関等で検査を受けることができる者 本調査の内容を理解し、調査の協力に同意する者 また、平成17年度以降にニチアス王寺工場及び竜田工業が実施した健康診断を受診した者も対象としている。	原則として次の～を満たす者 平成16年以前に北九州市門司区に居住していた者 北九州市が検査を実施する指定医療機関等で検査を受けることができる者 本調査の内容を理解し、調査の協力に同意する者	
調査方法	1 確認（羽島市保健センターにおいて実施） ・問診 ・調査の同意 2 精密診断（指定医療機関において実施） ・胸部X線検査 ・胸部CT検査	1 確認（県保健所及び奈良市保健所において実施） ・問診 ・調査の同意 2 精密診断（指定医療機関において実施） ・胸部X線検査 ・胸部CT検査	1 確認（門司区役所等において実施） ・問診 ・調査の同意 2 精密診断（指定医療機関において実施） ・胸部X線検査 ・胸部CT検査	
読影	指定医療機関で1次読影の後、羽島市石綿ばく露健康リスク調査専門委員会において、所見を確認	指定医療機関で1次読影の後、奈良県石綿ばく露健康リスク調査専門委員会において、所見を確認	指定医療機関で1次読影の後、北九州市石綿健康リスク調査専門会議において、所見を確認	

表4 - 2 調査対象者の年齢

7地域合計		
40歳未満	51	1.6%
40～49歳	253	8.1%
50～59歳	436	13.9%
60～69歳	1,020	32.5%
70～79歳	1,067	34.0%
80～89歳	299	9.5%
90～99歳	8	0.3%
計	3,134	100.0%

表4 - 3 平成26年度石綿の健康リスク調査（ばく露歴と医学的所見（X線所見）の集計表 概略版）

地域	大阪府			尼崎市			鳥栖市			横浜市			羽島市			奈良県			北九州市			計		
	計	ばく露歴あり	その他	計	ばく露歴あり	その他	計	ばく露歴あり	その他	計	ばく露歴あり	その他	計	ばく露歴あり	その他	計	ばく露歴あり	その他	計	ばく露歴あり	その他	計	ばく露歴あり	その他
受診者数	478	310	168	638	277	361	289	189	100	238	104	134	703	260	443	594	287	307	181	144	37	3121	1571	1550
所見あり	63	48	15	72	42	30	19	14	5	29	18	11	136	73	63	80	48	32	14	14	0	413	257	156
	13%	15%	9%	11%	15%	8%	7%	7%	5%	12%	17%	8%	19%	28%	14%	13%	17%	10%	8%	10%	0%	13%	16%	10%
胸膜	53	41	12	57	29	28	10	9	1	27	18	9	130	71	59	68	43	25	9	9	0	354	220	134
ブランク	11%	13%	7%	9%	10%	8%	3%	5%	1%	11%	17%	7%	18%	27%	13%	11%	15%	8%	5%	6%	0%	11%	14%	9%
肺野の間質影	12	10	2	13	10	3	7	4	3	2	1	1	4	2	2	9	3	6	2	2	0	49	32	17
	3%	3%	1%	2%	4%	1%	2%	2%	3%	1%	1%	1%	1%	1%	0%	2%	1%	2%	1%	1%	0%	2%	2%	1%

所見ありは、胸水貯留、胸膜ブランク、びまん性胸膜肥厚、胸膜腫瘍（中皮腫）疑い、肺野の間質影、円形無気肺、肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）、リンパ節の腫大の所見が見られる者（所見に疑い所見を含む。胸水貯留4件、胸膜ブランク31件、びまん性胸膜肥厚2件、肺野の間質影7件、肺野の腫瘤状陰影2件）。ただし、びまん性胸膜肥厚、肺野の間質影の所見については、石綿以外の原因である可能性が高いと判断した場合には除いている。

「割合」は受診者数を分母として算出

「ばく露歴あり」は、労働現場等と関連するばく露歴が確認できる者（直接職歴、間接職歴、家庭内ばく露、立入・屋内環境ばく露のいずれかの区分に該当する者）

「その他ばく露」は、労働現場等と関連するばく露歴が確認できない者（直接職歴、間接職歴、家庭内ばく露、立入・屋内環境ばく露のいずれかの区分に該当しない者）

表4 - 4 各地域の新規・継続受診者数及び胸膜ブランク（胸膜肥厚斑）ありの者のばく露歴の集計表

地域	調査対象者						X線受診者											
	継続受診者			新規受診者			胸膜ブランク											
	計	継続受診者	新規受診者	計	継続受診者	新規受診者	ア.直接職歴	イ.間接職歴	ウ.家庭内ばく露	エ.立入等	オ.その他	計	ア.直接職歴	イ.間接職歴	ウ.家庭内ばく露	エ.立入等	オ.その他	
大阪府	479	341	71.2%	138	28.8%	478	53	11.1%	26	49.1%	2	3.8%	7	13.2%	6	11.3%	12	22.6%
尼崎市	638	430	67.4%	208	32.6%	638	57	8.9%	13	22.8%	8	14.0%	5	8.8%	3	5.3%	28	49.1%
鳥栖市	293	259	88.4%	34	11.6%	289	10	3.5%	7	70.0%	0	0.0%	2	20.0%	0	0.0%	1	10.0%
横浜市	238	214	89.9%	24	10.1%	238	27	11.3%	11	40.7%	3	11.1%	3	11.1%	1	3.7%	9	33.3%
羽島市	709	703	99.2%	6	0.8%	703	130	18.5%	23	17.7%	10	7.7%	26	20.0%	12	9.2%	59	45.4%
奈良県	596	554	93.0%	42	7.0%	594	68	11.4%	13	19.1%	6	8.8%	17	25.0%	7	10.3%	25	36.8%
北九州市	181	133	73.5%	48	26.5%	181	9	5.0%	7	77.8%	0	0.0%	1	11.1%	1	11.1%	0	0.0%
計	3,134	2,634	84.0%	500	16.0%	3,121	354	11.3%	100	28.2%	29	8.2%	61	17.2%	30	8.5%	134	37.9%

表4 - 6 石綿の健康リスク調査におけるばく露歴と医学的所見の集計表（詳細版、CT所見、7地域合計）

	7地域合計																				
	ア.直接職歴			イ.間接職歴			ウ.家庭内ばく露			エ.立入等			ア～エ小計			オ.その他			合計		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
受診者計	656	562	94	247	172	75	375	100	275	253	160	93	1,531	994	537	1,472	609	863	3,003	1,603	1,400
(ばく露区分別の構成割合)	22%	35%	7%	8%	11%	5%	12%	6%	20%	8%	10%	7%	51%	62%	38%	49%	38%	62%	100%	100%	100%
所見あり	290	258	32	93	70	23	132	50	82	85	60	25	600	438	162	401	221	180	1,001	659	342
胸水貯留	5	4	1	3	3	0	3	0	3	1	1	0	12	8	4	6	5	1	18	13	5
胸膜ブランク	249	223	26	82	61	21	120	46	74	72	49	23	523	379	144	346	187	159	869	566	303
(受診者に対する割合)	38%	40%	28%	33%	35%	28%	32%	46%	27%	28%	31%	25%	34%	38%	27%	24%	31%	18%	29%	35%	22%
びまん性胸膜肥厚	5	5	0	3	3	0	1	1	0	4	4	0	13	13	0	5	4	1	18	17	1
胸膜腫瘍(中皮腫)疑い	1	1	0	1	1	0	1	0	1	1	1	0	4	3	1	2	2	0	6	5	1
肺野の間質影	46	41	5	15	13	2	13	6	7	17	15	2	91	75	16	57	38	19	148	113	35
(受診者に対する割合)	7%	7%	5%	6%	8%	3%	3%	6%	3%	7%	9%	2%	6%	8%	3%	4%	6%	2%	5%	7%	3%
円形無気肺	7	7	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1	9	8	1	5	5	0	14	13	1
肺野の腫瘤状陰影(肺がん等)	10	9	1	2	1	1	0	0	0	1	0	1	13	10	3	5	3	2	18	13	5
リンパ節の腫大	14	11	3	4	2	2	2	1	1	7	7	0	27	21	6	10	7	3	37	28	9

表4 - 6 石綿の健康リスク調査におけるばく露歴と医学的所見の集計表（詳細版、CT所見、大阪府）

	大阪府																				
	ア.直接職歴			イ.間接職歴			ウ.家庭内ばく露			エ.立入等			ア～エ小計			オ.その他			合計		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
受診者計	176	134	42	40	31	9	43	15	28	51	34	17	310	214	96	168	74	94	478	288	190
(ばく露区分別の構成割合)	37%	47%	22%	8%	11%	5%	9%	5%	15%	11%	12%	9%	65%	74%	51%	35%	26%	49%	100%	100%	100%
所見あり	82	70	12	13	11	2	16	9	7	21	16	5	132	106	26	35	23	12	167	129	38
胸水貯留	3	2	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	5	4	1	1	1	0	6	5	1
胸膜ブランク	69	60	9	9	8	1	15	8	7	16	12	4	109	88	21	29	19	10	138	107	31
(受診者に対する割合)	39%	45%	21%	23%	26%	11%	35%	53%	25%	31%	35%	24%	35%	41%	22%	17%	26%	11%	29%	37%	16%
びまん性胸膜肥厚	2	2	0	2	2	0	0	0	0	3	3	0	7	7	0	3	2	1	10	9	1
胸膜腫瘍(中皮腫)疑い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肺野の間質影	14	13	1	2	1	1	2	1	1	5	4	1	23	19	4	5	5	0	28	24	4
(受診者に対する割合)	8%	10%	2%	5%	3%	11%	5%	7%	4%	10%	12%	6%	7%	9%	4%	3%	7%	0%	6%	8%	2%
円形無気肺	2	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	2	2	0	5	5	0
肺野の腫瘤状陰影(肺がん等)	5	4	1	1	1	0	0	0	0	1	0	1	7	5	2	1	1	0	8	6	2
リンパ節の腫大	7	6	1	2	2	0	1	1	0	5	5	0	15	14	1	5	4	1	20	18	2

表4 - 6 石綿の健康リスク調査におけるばく露歴と医学的所見の集計表（詳細版、CT所見、尼崎市）

	尼崎市																				
	ア.直接職歴			イ.間接職歴			ウ.家庭内ばく露			エ.立入等			ア～エ小計			オ.その他			合計		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
受診者計 (ばく露区分別の構成割合)	116	113	3	52	45	7	41	6	35	25	14	11	234	178	56	296	117	179	530	295	235
	22%	38%	1%	10%	15%	3%	8%	2%	15%	5%	5%	5%	44%	60%	24%	56%	40%	76%	100%	100%	100%
所見あり	53	51	2	23	21	2	13	3	10	10	6	4	99	81	18	104	49	55	203	130	73
胸水貯留	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1	0	1	3	2	1
胸膜ブランク (受診者に対する割合)	44	42	2	21	19	2	10	3	7	9	5	4	84	69	15	92	43	49	176	112	64
	38%	37%	67%	40%	42%	29%	24%	50%	20%	36%	36%	36%	36%	39%	27%	31%	37%	27%	33%	38%	27%
びまん性胸膜肥厚	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0
胸膜腫瘍(中皮腫)疑い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肺野の間質影 (受診者に対する割合)	10	10	0	6	6	0	3	0	3	2	2	0	21	18	3	10	6	4	31	24	7
	9%	9%	0%	12%	13%	0%	7%	0%	9%	8%	14%	0%	9%	10%	5%	3%	5%	2%	6%	8%	3%
円形無気肺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肺野の腫瘤状陰影(肺がん等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リンパ節の腫大	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	1	1	3	2	1

表4 - 6 石綿の健康リスク調査におけるばく露歴と医学的所見の集計表（詳細版、CT所見、鳥栖市）

	鳥栖市																				
	ア.直接職歴			イ.間接職歴			ウ.家庭内ばく露			エ.立入等			ア～エ小計			オ.その他			合計		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
受診者計 (ばく露区分別の構成割合)	80	72	8	18	8	10	50	13	37	44	31	13	192	124	68	101	53	48	293	177	116
	27%	41%	7%	6%	5%	9%	17%	7%	32%	15%	18%	11%	66%	70%	59%	34%	30%	41%	100%	100%	100%
所見あり	20	18	2	0	0	0	4	1	3	5	5	0	29	24	5	10	8	2	39	32	7
胸水貯留	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
胸膜ブランク (受診者に対する割合)	14	12	2	0	0	0	3	0	3	1	1	0	18	13	5	1	1	0	19	14	5
	18%	17%	25%	0%	0%	0%	6%	0%	8%	2%	3%	0%	9%	10%	7%	1%	2%	0%	6%	8%	4%
びまん性胸膜肥厚	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	2	0	0	0	0	2	2	0
胸膜腫瘍(中皮腫)疑い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肺野の間質影 (受診者に対する割合)	5	5	0	0	0	0	1	1	0	3	3	0	9	9	0	7	6	1	16	15	1
	6%	7%	0%	0%	0%	0%	2%	8%	0%	7%	10%	0%	5%	7%	0%	7%	11%	2%	5%	8%	1%
円形無気肺	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0
肺野の腫瘤状陰影(肺がん等)	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	1	1	3	2	1
リンパ節の腫大	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0

表4 - 6 石綿の健康リスク調査におけるばく露歴と医学的所見の集計表（詳細版、C T所見、横浜市）

	横浜市																				
	ア.直接職歴			イ.間接職歴			ウ.家庭内ばく露			エ.立入等			ア～エ小計			オ.その他			合計		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
受診者計 (ばく露区分別の構成割合)	55 23%	51 39%	4 4%	20 8%	15 11%	5 5%	19 8%	6 5%	13 12%	10 4%	7 5%	3 3%	104 44%	79 60%	25 23%	134 56%	52 40%	82 77%	238 100%	131 100%	107 100%
所見あり	21	21	0	7	6	1	10	4	6	2	2	0	40	33	7	26	13	13	66	46	20
胸水貯留	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
胸膜ブランク (受診者に対する割合)	20 36%	20 39%	0 0%	7 35%	6 40%	1 20%	9 47%	4 67%	5 38%	2 20%	2 29%	0 0%	38 37%	32 41%	6 24%	19 14%	10 19%	9 11%	57 24%	42 32%	15 14%
びまん性胸膜肥厚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
胸膜腫瘍(中皮腫)疑い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0
肺野の間質影 (受診者に対する割合)	1 2%	1 2%	0 0%	2 10%	1 7%	1 20%	2 11%	1 17%	1 8%	1 10%	1 14%	0 0%	6 6%	4 5%	2 8%	6 4%	2 4%	4 5%	12 5%	6 5%	6 6%
円形無気肺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肺野の腫瘤状陰影(肺がん等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1
リンパ節の腫大	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	2	1	1

表4 - 6 石綿の健康リスク調査におけるばく露歴と医学的所見の集計表（詳細版、C T所見、羽島市）

	羽島市																				
	ア.直接職歴			イ.間接職歴			ウ.家庭内ばく露			エ.立入等			ア～エ小計			オ.その他			合計		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
受診者計 (ばく露区分別の構成割合)	60 9%	53 18%	7 2%	59 9%	35 12%	24 6%	93 13%	27 9%	66 17%	47 7%	22 7%	25 6%	259 38%	137 46%	122 31%	431 62%	160 54%	271 69%	690 100%	297 100%	393 100%
所見あり	36	32	4	26	13	13	45	16	29	25	12	13	132	73	59	132	66	66	264	139	125
胸水貯留	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	3	3	0
胸膜ブランク (受診者に対する割合)	35 58%	31 58%	4 57%	26 44%	13 37%	13 54%	45 48%	16 59%	29 44%	25 53%	12 55%	13 52%	131 51%	72 53%	59 48%	130 30%	64 40%	66 24%	261 38%	136 46%	125 32%
びまん性胸膜肥厚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
胸膜腫瘍(中皮腫)疑い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0
肺野の間質影 (受診者に対する割合)	1 2%	1 2%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	1 1%	1 4%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	2 1%	2 1%	0 0%	4 1%	2 1%	2 1%	6 1%	4 1%	2 1%
円形無気肺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	2	2	0	3	2	1
肺野の腫瘤状陰影(肺がん等)	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
リンパ節の腫大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表4 - 6 石綿の健康リスク調査におけるばく露歴と医学的所見の集計表（詳細版、CT所見、奈良県）

	奈良県																				
	ア.直接職歴			イ.間接職歴			ウ.家庭内ばく露			エ.立入等			ア～エ小計			オ.その他			合計		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
受診者計	104	89	15	42	31	11	91	31	60	51	36	15	288	187	101	305	142	163	593	329	264
(ばく露区分別の構成割合)	18%	27%	6%	7%	9%	4%	15%	9%	23%	9%	11%	6%	49%	57%	38%	51%	43%	62%	100%	100%	100%
所見あり	53	47	6	20	16	4	40	17	23	19	16	3	132	96	36	91	60	31	223	156	67
胸水貯留	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	2	2	0
胸膜ブランク	46	40	6	18	14	4	37	15	22	17	15	2	118	84	34	74	50	24	192	134	58
(受診者に対する割合)	44%	45%	40%	43%	45%	36%	41%	48%	37%	33%	42%	13%	41%	45%	34%	24%	35%	15%	32%	41%	22%
びまん性胸膜肥厚	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	2	0	2	2	0	4	4	0
胸膜腫瘍(中皮腫)疑い	1	1	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	3	3	0	0	0	0	3	3	0
肺野の間質影	10	9	1	2	2	0	3	2	1	6	5	1	21	18	3	24	16	8	45	34	11
(受診者に対する割合)	10%	10%	7%	5%	6%	0%	3%	6%	2%	12%	14%	7%	7%	10%	3%	8%	11%	5%	8%	10%	4%
円形無気肺	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1	1	0	3	3	0
肺野の腫瘤状陰影(肺がん等)	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	1	1	0	4	4	0
リンパ節の腫大	2	2	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	4	3	1	2	1	1	6	4	2

表4 - 6 石綿の健康リスク調査におけるばく露歴と医学的所見の集計表（詳細版、CT所見、北九州市）

	北九州市																				
	ア.直接職歴			イ.間接職歴			ウ.家庭内ばく露			エ.立入等			ア～エ小計			オ.その他			合計		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
受診者計	65	50	15	16	7	9	38	2	36	25	16	9	144	75	69	37	11	26	181	86	95
(ばく露区分別の構成割合)	36%	58%	16%	9%	8%	9%	21%	2%	38%	14%	19%	9%	80%	87%	73%	20%	13%	27%	100%	100%	100%
所見あり	25	19	6	4	3	1	4	0	4	3	3	0	36	25	11	3	2	1	39	27	12
胸水貯留	1	1	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	3	1	2	0	0	0	3	1	2
胸膜ブランク	21	18	3	1	1	0	1	0	1	2	2	0	25	21	4	1	0	1	26	21	5
(受診者に対する割合)	32%	36%	20%	6%	14%	0%	3%	0%	3%	8%	13%	0%	17%	28%	6%	3%	0%	4%	14%	24%	5%
びまん性胸膜肥厚	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0
胸膜腫瘍(中皮腫)疑い	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
肺野の間質影	5	2	3	3	3	0	1	0	1	0	0	0	9	5	4	1	1	0	10	6	4
(受診者に対する割合)	8%	4%	20%	19%	43%	0%	3%	0%	3%	0%	0%	0%	6%	7%	6%	3%	9%	0%	6%	7%	4%
円形無気肺	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	2	2	0
肺野の腫瘤状陰影(肺がん等)	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0
リンパ節の腫大	2	0	2	1	0	1	0	0	0	1	1	0	4	1	3	1	1	0	5	2	3

表4 - 8 平成22～25年度受診者のうち、医療の必要があると判断された者の診断経過について

	合計						大阪府						尼崎市						鳥栖市					
	計	ア	イ	ウ	エ	オ	計	ア	イ	ウ	エ	オ	計	ア	イ	ウ	エ	オ	計	ア	イ	ウ	エ	オ
石綿関連疾患(疑いを含む)	31 (3)	16 (2)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	11 (1)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (0)	3 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)
a 中皮腫	5 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)							3 (0)	1 (0)				2 (0)						
b 肺がん	20 (3)	9 (2)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	8 (1)							3 (0)					3 (0)	2 (1)	1 (0)				1 (1)
c 石綿肺	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)																
d 良性石綿胸水	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)																		
e びまん性胸膜肥厚	3 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)													1					1

()は疑い(内数)

石綿救済制度又は労災制度で認定された者	救済	10	中皮腫(ア1、オ1) 肺がん(ア1、イ1、ウ1、オ4) びまん性胸膜肥厚(ア1)	救済	2	中皮腫(オ1) 肺がん(オ1)	救済	0			
	労災	6	中皮腫(ア1、イ1) 肺がん(ア2) 石綿肺(ア1) 良性石綿胸水(ア1)	労災	1	石綿肺(ア1)	労災	1	中皮腫(ア1)	労災	0
	合計	16	中皮腫(ア2、イ1、オ1) 肺がん(ア3、イ1、ウ1、オ4) 石綿肺(ア1) 良性石綿胸水(ア1) びまん性胸膜肥厚(ア1)	合計	1	石綿肺(ア1)	合計	3	中皮腫(ア1、オ1) 肺がん(オ1)	合計	0

平成18～21年度の状況 救済 4(中皮腫1, 肺がん3)

労災12(中皮腫1, 肺がん3, 石綿肺6, びまん性胸膜肥厚2)

合計16

	横浜市						羽島市						奈良県						北九州市					
	計	ア	イ	ウ	エ	オ	計	ア	イ	ウ	エ	オ	計	ア	イ	ウ	エ	オ	計	ア	イ	ウ	エ	オ
石綿関連疾患(疑いを含む)	6 (1)	5 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	10 (0)	4 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	3 (0)	3 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
a 中皮腫													2 (0)	1 (0)	1 (0)									
b 肺がん	4 (1)	3 (1)				1 (0)	9 (0)	3 (0)	1 (0)	2 (0)		3 (0)							2 (1)	2 (1)				
c 石綿肺																								
d 良性石綿胸水							1 (0)	1 (0)					1 (0)	1 (0)										
e びまん性胸膜肥厚	2 (0)	2 (0)																						

()は疑い(内数)

石綿救済制度又は労災制度で認定された者	救済	1	びまん性胸膜肥厚(ア1)	救済	5	肺がん(イ1、ウ1、オ3)	救済	1	中皮腫(ア1)	救済	1	肺がん(ア1)
	労災	0		労災	2	肺がん(ア2)	労災	2	中皮腫(イ1) 良性石綿胸水(ア1)	労災	0	
	合計	1	びまん性胸膜肥厚(ア1)	合計	7	肺がん(ア2、イ1、ウ1、オ3)	合計	3	中皮腫(ア1、イ1) 良性石綿胸水(ア1)	合計	1	肺がん(ア1)

表5 - 2 平成22年度調査対象者の属性

地域	合計	第1期リスク調査 受診者		性別			
				男		女	
大阪府	437	382	87.4%	241	55.1%	196	44.9%
尼崎市	301	227	75.4%	156	51.8%	145	48.2%
鳥栖市	272	129	47.4%	175	64.3%	97	35.7%
横浜市	320	283	88.4%	173	54.1%	147	45.9%
羽島市	768	390	50.8%	324	42.2%	444	57.8%
奈良県	456	346	75.9%	254	55.7%	202	44.3%
北九州市	153	76	49.7%	81	52.9%	72	47.1%
計	2,707	1,833	67.7%	1,404	51.9%	1,303	48.1%

表5 - 3 平成23年度新規受診者の属性

地域	合計	第1期リスク調査 受診者		性別			
				男		女	
大阪府	49	33	67.3%	24	49.0%	25	51.0%
尼崎市	434	76	17.5%	259	59.7%	175	40.3%
鳥栖市	130	22	16.9%	64	49.2%	66	50.8%
横浜市	39	8	20.5%	23	59.0%	16	41.0%
羽島市	44	3	6.8%	21	47.7%	23	52.3%
奈良県	63	35	55.6%	37	58.7%	26	41.3%
北九州市	80	6	7.5%	44	55.0%	36	45.0%
計	839	183	21.8%	472	56.3%	367	43.7%

表5 - 4 平成24年度新規受診者の属性

地域	合計	第1期リスク調査 受診者		性別			
				男		女	
大阪府	20	1	5.0%	10	50.0%	10	50.0%
尼崎市	158	20	12.7%	88	55.7%	70	44.3%
鳥栖市	50	12	24.0%	36	72.0%	14	28.0%
横浜市	15	1	6.7%	6	40.0%	9	60.0%
羽島市	24	1	4.2%	9	37.5%	15	62.5%
奈良県	108	4	3.7%	55	50.9%	53	49.1%
北九州市	59	0	0.0%	34	57.6%	25	42.4%
計	434	39	9.0%	238	54.8%	196	45.2%

表5 - 5 平成25年度新規受診者の属性

地域	合計	第1期リスク調査 受診者		性別			
				男		女	
大阪府	16	4	25.0%	9	56.3%	7	43.8%
尼崎市	161	6	3.7%	90	55.9%	71	44.1%
鳥栖市	62	16	25.8%	36	58.1%	26	41.9%
横浜市	15	2	13.3%	7	46.7%	8	53.3%
羽島市	28	1	3.6%	12	42.9%	16	57.1%
奈良県	166	7	4.2%	92	55.4%	74	44.6%
北九州市	51	3	5.9%	28	54.9%	23	45.1%
計	499	39	7.8%	274	54.9%	225	45.1%

表5 - 6 平成26年度新規受診者の属性

地域	合計	第1期リスク調査 受診者		性別			
				男		女	
大阪府	137	6	4.4%	93	67.9%	44	32.1%
尼崎市	208	10	4.8%	117	56.3%	91	43.8%
鳥栖市	34	2	5.9%	16	47.1%	18	52.9%
横浜市	24	1	4.2%	12	50.0%	12	50.0%
羽島市	6	0	0.0%	1	16.7%	5	83.3%
奈良県	42	1	2.4%	25	59.5%	17	40.5%
北九州市	48	3	6.3%	21	43.8%	27	56.3%
計	499	23	4.6%	285	57.1%	214	42.9%

表5 - 8 ばく露歴と胸膜プラーク（X線所見）

地域	平成22年度調査対象者 + 平成23・24・25・26年度新規受診者												
	胸膜プラーク											オ. その他	
	ア. 直接職歴	イ. 間接職歴	ウ. 家庭内ばく露	エ. 立入等	ア. 直接職歴		イ. 間接職歴		ウ. 家庭内ばく露		エ. 立入等		
大阪府	658	100	15%	59	59%	8	8%	7	7%	7	7%	19	19%
尼崎市	1,262	99	8%	36	36%	14	14%	6	6%	5	5%	38	38%
鳥栖市	547	28	5%	17	61%	3	11%	3	11%	1	4%	4	14%
横浜市	413	45	11%	20	44%	8	18%	3	7%	2	4%	12	27%
羽島市	856	155	18%	29	19%	12	8%	27	17%	15	10%	72	46%
奈良県	832	84	10%	20	24%	5	6%	26	31%	6	7%	27	32%
北九州市	390	32	8%	27	84%	1	3%	1	3%	2	6%	1	3%
計	4,958	543	11%	208	38%	51	9%	73	13%	38	7%	173	32%

表5 - 9 ばく露歴と胸膜プラーク（CT所見）

地域	平成22年度調査対象者 + 平成23・24・25・26年度新規受診者												
	胸膜プラーク											オ. その他	
	ア. 直接職歴	イ. 間接職歴	ウ. 家庭内ばく露	エ. 立入等	ア. 直接職歴		イ. 間接職歴		ウ. 家庭内ばく露		エ. 立入等		
大阪府	642	182	28%	101	55%	11	6%	17	9%	16	9%	37	20%
尼崎市	939	242	26%	63	26%	35	14%	13	5%	13	5%	118	49%
鳥栖市	453	50	11%	30	60%	4	8%	4	8%	2	4%	10	20%
横浜市	413	96	23%	35	36%	13	14%	10	10%	5	5%	33	34%
羽島市	842	318	38%	55	17%	27	8%	51	16%	28	9%	157	49%
奈良県	809	230	28%	55	24%	19	8%	47	20%	19	8%	90	39%
北九州市	355	62	17%	50	81%	5	8%	1	2%	4	6%	2	3%
計	4,453	1,180	26%	389	33%	114	10%	143	12%	87	7%	447	38%

表5 - 10 医学的所見の詳細

	7地域合計										大阪府									
	平成22年度調査対象者		平成23年度新規受診者		平成24年度新規受診者		平成25年度新規受診者		平成26年度新規受診者		平成22年度調査対象者		平成23年度新規受診者		平成24年度新規受診者		平成25年度新規受診者		平成26年度新規受診者	
	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見
受診者計	2,693	2,448	837	687	433	399	496	453	499	466	437	423	49	46	20	20	15	16	137	137
所見あり ~	931	1,643	243	421	131	278	162	311	161	329	178	262	26	31	12	19	6	12	53	111
石綿関連所見あり ~	427	811	78	172	56	131	42	120	57	163	80	123	7	13	9	12	2	6	24	66
胸水貯留	3	7	3	1	3	3	3	3	4	4	1	2	0	0	0	1	0	0	2	1
胸膜プラーク (受診者に対する割合)	365 14%	723 30%	57 7%	130 19%	47 11%	109 27%	32 6%	94 21%	42 8%	124 27%	65 15%	107 25%	5 10%	11 24%	9 45%	12 60%	1 7%	4 25%	20 15%	48 35%
びまん性胸膜肥厚	11	14	2	4	2	1	2	1	5	9	5	3	1	1	0	0	0	0	4	8
胸膜腫瘍(中皮腫)疑い	-	5	-	1	-	0	-	1	-	1	-	2	-	1	-	0	-	0	-	0
肺野の間質影 (受診者に対する割合)	72 3%	132 5%	15 2%	39 6%	4 1%	23 6%	8 2%	31 7%	14 3%	38 8%	33 8%	28 7%	1 2%	3 7%	0 0%	0 0%	1 7%	2 13%	5 4%	15 11%
円形無気肺	-	11	-	2	-	3	-	1	-	5	-	4	-	0	-	0	-	0	-	4
肺野の腫瘤状陰影(肺がん等)	18	23	7	11	4	13	2	3	2	6	3	5	2	1	0	0	1	1	0	5
リンパ節の腫大	-	13	-	10	-	3	-	3	-	19	-	3	-	3	-	0	-	0	-	18
その他	571	1,213	183	312	80	206	133	260	114	258	121	197	23	25	7	14	5	9	32	85

	尼崎市										鳥栖市									
	平成22年度調査対象者		平成23年度新規受診者		平成24年度新規受診者		平成25年度新規受診者		平成26年度新規受診者		平成22年度調査対象者		平成23年度新規受診者		平成24年度新規受診者		平成25年度新規受診者		平成26年度新規受診者	
	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見
受診者計	301	222	434	301	158	124	161	117	208	175	272	192	130	117	50	50	61	60	34	34
所見あり ~	95	160	130	208	46	98	58	89	71	132	64	85	19	44	8	21	13	24	1	15
石綿関連所見あり ~	45	88	41	83	13	39	14	29	18	58	23	37	5	17	5	10	4	11	0	3
胸水貯留	0	0	3	0	2	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0
胸膜プラーク (受診者に対する割合)	36 12%	71 32%	28 6%	64 21%	10 6%	35 28%	12 7%	25 21%	13 6%	47 27%	18 7%	28 15%	4 3%	9 8%	4 8%	7 14%	2 3%	5 8%	0 0%	1 3%
びまん性胸膜肥厚	1	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
胸膜腫瘍(中皮腫)疑い	-	1	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	1	-	0
肺野の間質影 (受診者に対する割合)	3 1%	12 5%	9 2%	21 7%	0 0%	7 6%	1 1%	3 3%	5 2%	14 8%	7 3%	10 5%	1 1%	6 5%	0 0%	1 2%	1 2%	4 7%	0 0%	2 6%
円形無気肺	-	0	-	1	-	1	-	0	-	0	-	0	-	0	-	1	-	0	-	0
肺野の腫瘤状陰影(肺がん等)	6	5	3	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	2	0	0
リンパ節の腫大	-	4	-	2	-	0	-	1	-	0	-	1	-	2	-	0	-	0	-	0
その他	56	112	97	155	33	78	49	74	55	105	44	59	15	30	3	12	9	18	1	12

表5 - 10 医学的所見の詳細

	横浜市										羽島市										
	平成22年度調査対象者		平成23年度新規受診者		平成24年度新規受診者		平成25年度新規受診者		平成26年度新規受診者		平成22年度調査対象者		平成23年度新規受診者		平成24年度新規受診者		平成25年度新規受診者		平成26年度新規受診者		
	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	
受診者計	320	320	39	39	15	15	15	15	15	24	24	755	741	44	44	24	23	27	28	6	6
所見あり ~	109	192	13	19	4	7	3	7	5	14	264	556	10	31	6	14	6	19	1	3	
石綿関連所見あり ~	45	99	2	8	2	4	2	2	2	3	145	287	7	13	5	11	3	7	1	3	
胸水貯留	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
胸膜プラーク (受診者に対する割合)	40	85	1	4	2	4	1	1	1	2	140	286	6	13	5	9	3	7	1	3	
	13%	27%	3%	10%	13%	27%	7%	7%	4%	8%	19%	39%	14%	30%	21%	39%	11%	25%	17%	50%	
びまん性胸膜肥厚	3	3	1	1	0	0	1	1	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
胸膜腫瘍(中皮腫)疑い	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	1	-	0	-	0	-	0	-	0	0
肺野の間質影 (受診者に対する割合)	3	19	0	3	0	0	1	1	1	1	4	23	1	0	0	0	0	1	0	0	0
	1%	6%	0%	8%	0%	0%	7%	7%	4%	4%	1%	3%	2%	0%	0%	0%	0%	4%	0%	0%	0%
円形無気肺	-	2	-	0	-	0	-	0	-	0	-	3	-	0	-	0	-	0	-	0	0
肺野の腫瘤状陰影(肺がん等)	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	2	0	2	0	0	0	0	0
リンパ節の腫大	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0
その他	72	131	12	16	2	4	2	6	3	12	127	417	3	23	1	7	4	16	0	2	

	奈良県										北九州市									
	平成22年度調査対象者		平成23年度新規受診者		平成24年度新規受診者		平成25年度新規受診者		平成26年度新規受診者		平成22年度調査対象者		平成23年度新規受診者		平成24年度新規受診者		平成25年度新規受診者		平成26年度新規受診者	
	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見
受診者計	456	431	61	62	107	108	166	166	42	42	152	119	80	78	59	59	51	51	48	48
所見あり ~	165	310	23	49	39	89	63	139	22	35	56	78	22	39	16	30	13	21	8	19
石綿関連所見あり ~	61	141	7	20	13	38	13	58	7	19	28	36	9	18	9	17	4	7	5	11
胸水貯留	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	1	0	1	1	1	0	0	2	3
胸膜プラーク (受診者に対する割合)	53	125	5	14	10	28	10	48	6	15	13	21	8	15	7	14	3	4	1	8
	12%	29%	8%	23%	9%	26%	6%	29%	14%	36%	9%	18%	10%	19%	12%	24%	6%	8%	2%	17%
びまん性胸膜肥厚	1	4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
胸膜腫瘍(中皮腫)疑い	-	1	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	1
肺野の間質影 (受診者に対する割合)	7	20	2	6	3	12	3	18	1	4	15	20	1	0	1	3	1	2	2	2
	2%	5%	3%	10%	3%	11%	2%	11%	2%	10%	10%	17%	1%	0%	2%	5%	2%	4%	4%	4%
円形無気肺	-	1	-	0	-	0	-	1	-	0	-	1	-	1	-	1	-	0	-	1
肺野の腫瘤状陰影(肺がん等)	4	3	0	0	2	7	0	0	0	0	4	4	1	1	2	2	0	0	2	1
リンパ節の腫大	-	2	-	2	-	2	-	0	-	1	-	3	-	1	-	1	-	2	-	0
その他	115	241	19	39	27	73	55	119	18	31	36	56	14	24	7	18	9	18	5	11